“経営に知恵と革新”

令和元年５月１日発行（隔月発行）Vol.746 号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2019 年５月・６月号

一般社団法人日本経営士会
会長 青木幸江

株式会社井出トマト農園
代表取締役　井出寿利氏

認定経営革新等支援機関

一般社団法人日本経営士会

「第65回定時社員総会」のご案内

第65回定時社員総会の日程は、下記の通り決定しました。
社員皆様には、ご出席頂きますようにお願い致します。

日時：令和元年6月21日（金）　15：30 ～ 17：00

会場：スクワール麹町3階　華の間
〒102-0083　東京都千代田区麹町6-6
TEL：03-3234-8739　FAX：03-3234-8738

＊ JR中央 総武線　四谷駅 麹町口から徒歩30秒
（横断歩道を渡り正面の建物）
＊ 地下鉄丸の内線　四谷駅 四谷口から徒歩3分
＊ 地下鉄南北線　四谷駅 3番口から徒歩2分

第53回全国研究会は京都で開催！

今年の全国研究会議は半世紀を超え第53回となります。
全国研の詳細を会報誌、ホームページでお知らせ申し上げております。

皆様のご参加を心よりお待ちしています。

包括テーマ

伝統と共創

―「第4次産業革命とイノベーション」―
未来社会の構築に向けて

★全国研究会の論文募集要綱に付きましては、P10をご参照下さい。会員皆様からたくさんの論文をお待ちしています。

INDEX

「対談」井出寿利氏 × 青木幸江会長 ・・・・・・・・・2
第５３回経営士全国研究会議京都大会ご案内 ・・・・・・・・・6
研究論文大募集 ・・・・・・・・・10
研究論文執筆要綱変更のお知らせ ・・・・・・・・・11
理事会通信 ・・・・・・・・・14
事業部・委員会活動
　外部連携事業部 ・・・・・・・・・15
　経営支援事業部 ・・・・・・・・・16
　ＣＳＲ環境事業部 ・・・・・・・・・18
ＭＰＰ委員会 ・・・・・・・・・19
女性経営士の会 ＮＪＫ活動報告 ・・・・・・・・・20
研究会通信　生産研究会 ・・・・・・・・・21
経営士養成講座 ・・・・・・・・・24
「寄稿」武術と健康に関する話 第 12 回 ・・・・・・・・・26
「会員の輪」会員紹介 ・・・・・・・・・28
会員広場　プロレスと経営 第 13 回 ・・・・・・・・・29
支部活動報告
　東北支部 ・・・・・・・・・30
　千葉支部 ・・・・・・・・・31
　東京支部 ・・・・・・・・・32
　南関東支部 ・・・・・・・・・34
　中部支部 ・・・・・・・・・36
　埼玉支部 ・・・・・・・・・38
　近畿支部 ・・・・・・・・・39
　四国支部 ・・・・・・・・・40
講座・セミナー予定 ・・・・・・・・・42
支部活動予定 ・・・・・・・・・43
広告 / インフォメーション ・・・・・・・・・44

マネジメントコンサルタント（Management Consultant）
発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F
Tel：03-3239-0691　Fax：03-3239-1831
http://www.keieishikai.com

表紙：株式会社井出トマト農園 井出寿利社長と青木幸江会長　/　撮影者：青木強志広報委員長

Copyright©2019 AMCJ. All Right Reserved. Design:Kenichi Aoki & ZENT Inc.

対談

井出寿利氏×青木幸江会長

■特別インタビュー：井出 寿利様（株式会社井出トマト農園 代表取締役）
■インタビューアー：青木 幸江会長
■写真撮影：青木 強志広報委員長
■記事編集：山石 明宏広報委員

今回は、神奈川県藤沢市でトマト農園を経営する井出トマト農園の井出様を青木会長が訪ね、対談が実現しました。

井出トマト農園は、メディアでも何回も取り上げられている有名なトマト農園です。トマトを軸として日本の豊かな「食文化」を創造し、更にはご自身の農業経営を基に生産性管理システム「AGRIOS（アグリオーエス）」というサービスを開発・販売され幅広くご活躍されている井出社長に色々なお話しを伺うことができました。

青木：井出さん、こんにちは。本日は、よろしくお願い致します。

井出：こちらこそ、よろしくお願い致します。

青木：井出トマト農園では、今何名ぐらいの方が働いていらっしゃるんですか？

井出：正社員が7名いて、パートやアルバイトを合わせると、合計で60名ほどになります。

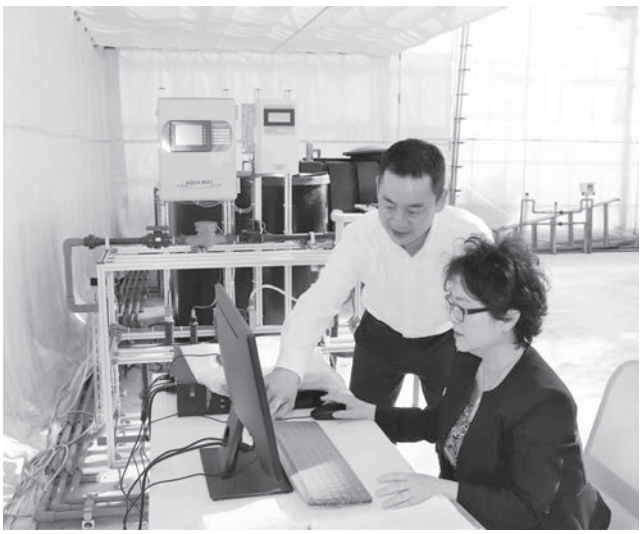
青木：そんなにいらっしゃるんですか？従業員の管理が大変じゃないですか？

井出：以前はとても大変でした。2007年に父親から経営を引き継いだのですが、その時の夢が、「従業員を50名にする」ことでした。それぐらいの事業規模まで持っていけば、仕事も暮らしも楽になると思っていたんですよね。2011年に青空☆満点レストランで井出トマト農園が放送されて急激に売り上げも伸びて、その翌年には、目標だった50名超えの事業規模になったのですが、2014年は半分に減り、2015年にはまた50名になったのですが、すぐにまた半分減ってしまいました。僕としては、やっと認知されて嬉しい！これで社会のお役に立てる！と思ったのですが、従業員さんは忙しい時期を経験すると、それが落ち着いた頃に「こんなに忙しい仕事は嫌です。」と言って辞めてしまうんですよね（笑）従業員管理する仕組みを作らないまま人数を増やしたので、経営者の想い、考えが全く伝わらなったんですよ（笑）初めは、僕の採用する人が悪いと思っていたんですが・・・（笑）

（樹の上で完熟するまで待つ樹上甘熟トマト）

青木：人の採用は難しいですよね？採用しても、経営者の想いや考え通りに従業員が働いてくれる事もなか

なかありませんし。井出さんは、どのようにして従業員さん達に思いや考えを伝えることが出来たんですか？


（作物栽培において必要不可欠の環境因子を測定）

井出：自分で考えても中々答えが見つからなかったので、ドクターシーラボの元社長だった、池本先生のグループコンサルを受講しました。そして、職場の環境整備が必要な事を学びまして、職場内で言語化されていなかった部分を全て書き出す事にしたんです。

青木：とても大変な作業ですよね？それは。具体的には、どのような事を書き出されたんでしょうか？

井出：とても大変でしたよ（笑）しかも3ヶ月に1回見直しをして書き直すので（笑）

具体的には、社長からのメッセージ、ビジョン、目標、規律とモラル、採用マニュアル、入社オリエンテーションマニュアル、業務レベル一覧、評価基準制度構築、ITツールの利用についてなど多岐にわたります。後は、2019年2月にリリースしたAGRIOS（アグリオーエス）の利用についてですね。

池本先生のところで学習しながら、CSSと言いまして企業の歴史と理念、計画と目標（KGI）、中間指標（KPI）、財務諸表、組織図、規則とルールなどを書いた冊子を従業員にオープンにして、全員で会社を良くするためにどうすれば良いかを考えるようにしました。

そもそも、事業に込めた思いとして「三方良し」というのがあるんですが、お客様のために何をすれば良いか？とか、社員のために何をすれば良いか？という事は、みんな答えられるんですけど、会社のために何をすれば良いか？という事に関しては、ほとんどの人が答えられないんですよね（笑）そこを会社の業績等をオープンにすることで全員で考えて会社を良くしようと（笑）

青木：それは素晴らしいですね！結果はどのようになりましたか？

井出：従業員が自ら考えて行動するようになりまして、生産性が向上しました。具体的には2010年に15kg/1㎡だった収量が、2017年には240%UPの36kg/1㎡になりました。それまでは、自分が頑張ってやればとか・・。従業員からの質問には一生懸命答えてとか。教えるために徹夜で資料を作ってとかやっていたんですが、結果、月100時間超えの残業で365日働きっぱなしという恐ろしい状況でした（笑）

今では週に2日だけ農業に携さわれば、あとは社員7名を中心に、スタッフのみんなが自主的に勉強して会社を回してくれるようになりました。

青木：週2日だけしか、トマト農園の仕事はされてないんですか？社長がいなくても会社が回るなんて、とても素敵な事ですね！私もそうなりたい・・・（笑）

他の日は何をされているんですか？もう一つ会社を立ち上げられたんですよね？

井出：はい(笑)日本経営士会の山石さんとファームオーエスという会社を立ち上げまして、農業の生産性管理システム「AGRIOS(アグリオーエス)」というサービスを開発、販売しています。

（ミニトマトの選果機、サイズ別に自動で分けています）

青木：それは、どのようなシステムなんですか？

井出：このAGRIOSというのも当農園の生産性が伸びた要因の1つなのですが、農業の生産性と労務生産性を管理するクラウド型生産性管理システムです。

AGRIOSは、トマトの生産者でもある私が、「生産量や雇用の管理技術向上」のために5年掛けてエンジニアと作ってきたソフトウェアです。生産者がソフトウェア事業？と思われるかもしれませんが、開発のきっかけは、自らが十数年農業を営む過程で、「人が増えるとなぜ効率が下がるのか」、「どうすれば効率を上げられるのか」、と悩んだことに始まります。農業の雇用管理や、各種データ管理に直結したサービスは、他社システムではなかなかありませんでした。それならば、私が現場にいることがしくみになってしまっているボトルネックを外せる、適したシステムを作ろうと思い、自分のノウハウを注ぎ込んで開発しました。農業のハードウェアとソフトウェア(人)をつなぐ「OSとなるサービス」を目指し、農家発の農業に特化したクラウド型生産性管理システムを開発し、AGRIOSと名付けました。従業員全員にスマホを持たせて、各作業の作業時間や、収量等をリアルタイムに入力してもらいます。そうすることで、従業員は作業中にメモを残しておく必要も無くなりましたし、作業後にそのメモを見ながら日報を書く必要も無くなりました。また、我々管理者が後からその日報の情報をエクセルに入力して集計する必要も無くなりましたので、残業時間が大幅に削減しました。スタッフも残業が減ったので大喜びです(笑)

私は、お風呂に入りながらスマホで一日のデータを見て、頑張っている人は褒めて、心配な人は様子を見に行くだけで良くなりました(笑)

青木：井出さんは、パワーがありますね！そのように思っても、中々行動に移せる人は少ないと思います。業務の効率を上げてスタッフの残業減らすことは難しいと思うのですが、どのように効率を上げられたんですか？

井出：会社の目標から逆算して、作業量の中間指標(KPI)を「見える化」しました。その達成率をAGRIOSのダッシュボーという機能で個人のスマホから確認できるようにしました。また、作業別の個人順位も見られるようしました。

青木：個人順位を見せてしまうと、心が折れてやる気を失くしてしまうスタッフさんはいなかったのですか？

井出：そこが重要なところでして、個人順位をみて個別にこっそり教えてあげるんです。も

ちろん、部下の個人成績が上司の評価の対象にもなります。一番大切なことは、チームでの実績を重要な評価項目にしているところですね。そうすると何が起こるかというと、作業が進まない人がいると、チームリーダーやその作業の得意な人が目標に達していない人のところに行って作業を教えるようになるように仕組化しました。また、出来ない人も自分から聞きに行くようになったり、努力するようになりました。ここでは、「リアルタイムに状況が把握出来る」ということが重要なんです。1週間、2週間後に気が付いても、本人も上司も課題を忘れちゃってますから(笑)これが、社長がいなくても会社が回るポイントなんです(笑)個人の生産性も、1.2倍にするぐらいなら簡単に出来ます。もし、年間6,000万円の雇用経費がかかっているとしたら、同じ従業員数で1人の生産性が1.2倍になった場合、1,000万円も雇用経費が削減できます。1,000万円は大きいですよ(笑)

青木：確かに1,000万円は大きいですよね！何か別の事業に投資するのにも十分な金額ですから。このシステムや考え方は、農業だけではなく他のビジネスにも応用できそうですね。そして、従業員の生産性が上がってくれたら頑張った社員にも還元できますし、私も楽になります(笑)

最後に、井出さんの今後の方向性を教えてください。

井出：はい！ AGRIOSで、人と人を、人と組織を、農家と企業をつないで結び、農業経営の生産性の向上、ビジネススタイルを大きく変えるシステムを提供していきたいと思います。情報は地域の垣根を越え、日本中、世界に広がるシステム、事業を構築しながら、グローバルなプラットフォーム企業を目指していきたいです。

その第一弾として、近々AGRIOSのベトナム語表示対応をします。昔は中国でしたが、今はベトナム人が日本の農家で働いてくれているケースが多いです。ベトナム人を雇用する農家と、そこで就労するベトナム人の皆さんとのコミュニケーションが円滑になれば、生産性が上がると思います(笑)

株式会社ファームオーエスでは、農業×IT×人に関する社会的課題を解決して、ビジネスとして魅力ある農業を創造することで、食料の安定供給と社会の発展に貢献していきたいと考えています。2025年3,000件の農業経営者を横につなげて、ビックデータの利用や、パートナーシップの構築、販売網を共有するなどして、優良農業経営モデルのFC化を目指せたら良いですね。

青木：実現すると良いですね！これからの日本人にとって、食糧の安定供給は大きな課題だと思います。井出さんありがとうございました。

井出：ありがとうございました！

（井出トマト農園にて）

‼おこしやす全国研へ・心よりお待

第53回経営士全

包括テーマ

伝統と共創

「第4次産業革命とイノベーション」
未来社会の構築に向けて

開催日：2019年9月14日・15日

場所：京都タワーホテル 9F コンベンションホール
京都市下京区烏丸通七条下り東塩小路町721-1（京都駅前）
TEL 075-361-7261

9月14日（土）

・受付：12：00〜12：50　タワーホテル 9F

■第一部　開会式　13：00〜13：30

司会　実行副委員長　藤井美保代

1. **開会の言葉**　実行委員長代理　橋本　俊幸
2. **国旗・団体旗　拝礼**
3. **物故者　黙祷**
4. **実行委員長挨拶**　近畿支部長　鋳方　貞了
5. **会長挨拶**　（一社）日本経営士会会長　青木　幸江
6. **ご来賓祝辞**
7. **ご祝電披露**

13：30〜13：50

8. **全国研究会議多数回出席者**：40回・35回・30回・25回・20回・15回・10回
第53回経営士研究プログラム優秀論文
MPP高単位取得者

13：50〜14：20

9.「**ビジネス・イノベーション・アワード京都**」**表彰**
アワード各賞表彰
大賞・優秀賞・特別賞・実行委員長賞

10. **第一部閉会の挨拶**
実行委員長代行　中筋　敏雄

14：20〜14：35　休憩

■第二部

14：45〜16：15

（1）**特別講演**　テーマ
「**SDGsと脱炭素化がもたらす**
ビジネス革命と地域循環共生圏」
環境省総合環境政策統括官
中井 徳太郎 様（予定）

16：30〜18：00

（2）**基調講演**　テーマ「**（仮）企業理念と経営**」
日本航空株式会社（JAL）
代表取締役副社長・執行役員
藤田 直志 様

基調講演・特別講演 謝辞
実行副委員長　瀬尾　寿一

■第三部　18：10〜20：40

記念セレモニー・懇親パーティー
司会　実行副委員長　河上　晃

1. **開会挨拶**
2. **ご来賓様　挨拶**
3. **乾杯**
4. **閉宴のことば**　実行委員会　顧問　酒井　三雄

会員の皆様方の名刺広告募集中
早期割引あり　5月31日締切り

ちしております!!　実行委員会一同

国研究会議 京都大会

後援（予定）：経済産業省・近畿経済産業局
その他各種団体等

参加費用

※1部～3部
会　員　20,000円
同伴者　10,000円

※講演会（第2部）
一般参加者　3,000円
（資料代）
参加費無料の方
学生
広告掲載の方 1名のみ

※宿泊代は各自で直接お支払いください

9月15日（日）

■研究論文発表会：8：30～10：30

会場	発表時間	質疑応答
白水	8:30～10:30	各発表後10分間
紫峰	8:30～10:30	各発表後10分間
桃山	8:30～10:30	各発表後10分間

■全体会議　10：30～11：30

司会　実行副委員長　　藤井美保代

1. **次回開催地の発表**
（一社）日本経営士会　専務理事　近藤　安弘
2. **全国研究会会議　主管交代**　　〃
3. **次期開催地代表挨拶**
2020年第54回全国研究会議実行委員長
新潟大会　栞山　一宏
4. **閉会の言葉**　実行委員　上村　義一
5. **掲示物予定**
祝電一覧表掲示、支部PRコーナー

※エキスカーション　新元号決定の後、5月頃にご案内致します。
乞うご期待ください。

◇◆◆研究会議論文参考例◆◆◇

・SDGsとビジネスを考える
・観光と生活の共生
・伝統と革新の共生
・都市と地方の共生
・外国人労働者問題にどう対応するか
・デジタルエコノミーの急速な進展にどう対応するか
（キャッシュレス化・IoT・AI・Bigデータ等）
・事業継承の対応
・中小企業として消費税にどう対応するか

宿泊パートナーホテル

1．京都タワーホテル　アネックス
2．ホテル京阪グランデ　ホテル京阪　八条口
3．アパホテル　など

第53回経営士全国研究会議京都大会
京都駅前各ホテルの状況

宿泊のホテルにつきましては、再度各ホテルにお願いの上、予約期間延長をお願いしました。今年は、国の行事や京都における祝祭も多くございます。
9月14日（土）は、3連休の初日ですのでお早めにホテルを確保ください。

ホテル名	部屋タイプ	客室確保数	価格	朝食付	税
京都タワーホテル	シングル禁煙	10	19,800	○	税込
	ツイン禁煙	10	25,000	○	税込
京都タワーホテルアネックス	シングル禁煙	20	19,200	○	税込
	ツイン禁煙	5	24,800	○	税込
ホテル京阪 京都 グランデ	シングル禁煙	20	17,000	－	税別
ホテル京阪 京都 八条口	ツイン禁煙	5	17,000	－	税別
＊ホテルエルシエント京都（エルイン京都）・ホテルセントノーム京都２館につきましては　7月15日					
ホテルエルシエント京都（エルイン京都）	シングル禁煙	40	13,800	○	税込
ホテルセントノーム京都	シングル	10	13,000	－	税別
	ツイン	4	25,000	－	税別
	ダブル	1	25,000	－	税別
＊アパホテル3館につきましては、5月末まで					
アパホテル＜京都駅北＞	シングル禁煙	10	20,000	－	税別
	ツイン禁煙	5	25,000	－	税別
アパホテル＜京都堀川通＞	シングル禁煙	10	17,500	－	税別
	ツイン禁煙	5	22,000	－	税別
アパヴィラホテル＜京都駅前＞	シングル禁煙	10	17,500	－	税別
	ツイン禁煙	5	22,000	－	税別

■お車でお越しの会員様　駐車場が利用できるホテル一覧

ホテル京阪 京都 グランデ（アバンティ）
ホテルエルシエント京都（エルイン京都）
ホテルセントノーム京都

●ホテル京阪 京都 グランデ（アバンティ）

シングル　20室　　17,000円

【駐車場について】

隣接したアバンティビル地下2階・3階にあります京都市営の八条口駐車場（有料）をご利用ください。（高さ2.1mまで）

・ご宿泊のお客様には16時から翌朝9時まで（入出庫なしで）1泊900円で駐車いただけるご優待有料駐車券をホテルフロントにてお渡ししております。
・上記以外の時間駐車は30分250円が必要となります。但し、午後9時から翌朝午前9時の間の時間駐車料金は60分100円となります。
・また、上記以外に一日券（24時間券）も3,000円にてございます。

※詳しくはホテル係員までお問合せください。

●ホテルエルシエント京都（エルイン京都）

シングル禁煙　40室　　13, 800円　朝税込

【駐車場のご案内】

ご宿泊のお客様は、『三井のリパーク駐車場（駐車場名：エルイン京都）』をご利用いただけます。発券機で「駐車券」を発行いただき、チェックインの際ご提示のうえ駐車料金をフロントにてご精算ください。

基本料金	8:00～18:00　15分/300円（最大料金2,800円）
	18:00～8:00　15分/300円（最大料金5,000円）
宿泊者優待料金	15:00～10:00　1,500円（左記、時間外はご利用いただけません）
収容台数	20台（内2台電気自動車充電ブース有り）
高さ・車幅制限	高さ/2.0M　車幅/1.9M

●ホテルセントノーム京都

シングル	10室	13,000円	朝別　税別	075-682-8777（代表）
ツイン	4室	25,000円	〃	
ダブル	1室	25,000円	〃	

【無料駐車場について】

～お車でお越しのお客様へ～地上と地下に駐車場がございます。地下駐車場へは、ホテル正面右手入口をご利用くださいませ。駐車後フロントカウンターに、利用用途・車種・車番をお知らせくださいませ。駐車場は無料ですがご予約制ではございません。地下駐車場を含め乗用車で47台の駐車が可能です。お越しいただいた際に満車の場合は、お客様ご負担となりますが隣にコインパーキングがございますのでそちらをご利用くださいませ。

第53回経営士全国研究会議京都大会 エキスカーション

■京都大会エキスカーションは下記コースをただ今準備中です。
コースの詳細とお申し込みは、会報誌7・8月号でご案内いたします。

1. 自由散策コース

A案：世界遺産の天龍寺拝観→トロッコ列車で保津峡の景色を楽しむ

天龍寺と見事な庭園を拝観後は、竹林の道を通り嵐山からトロッコ列車に乗り、亀岡までの車窓の景色を楽しみます。

B案：酒どころ伏見の利き酒と龍馬ゆかりの「寺田屋」巡り

日本有数の酒処伏見を訪れ、酒蔵・酒工房を見学したのち、坂本龍馬が襲撃された寺田屋を訪れます。

C案：哲学の道を散策しながら法然院→永観堂→南禅寺を歩く

京都の代表的な観光名所。散策しながら自然の息吹を感じられるコースです。

2. 観光タクシー チャーターコース

金閣寺、伏見稲荷大社、清水寺など、代表的な観光スポットを貸切タクシーで回るコースです。

3. 定期観光バス 案内コース

定期観光バスに参加し、京都の観光名所を回るコースです。

第 53 回経営士全国研究会議（京都）
「研究論文大募集」

第53回全国研究会議京都大会は、68周年の記念すべき大会にあたります。

今大会の包括テーマは、経営士の役割を再確認し、経営士としての力量・手腕を十分に発揮できるテーマです。是非この機会に、経営士各位の日頃の研究成果を論文にして発表されますようお願いします。会員各位の多くの応募を心よりお待ちいたしております。

― 包括テーマ ―

伝統と共創

―「第4次産業革命とイノベーション」―
未来社会の構築に向けて

募 集 要 綱

■資　　格　：　一般社団法人日本経営士会　会員

■論文テーマ　：　①包括テーマに準拠するもの
②その他、経営士としてのコンサル活動をテーマにしたもの

■事 前 申 請　：　応募を希望される場合は、2019年5月31日（金）までに氏名、会員番号、支部名、論文テーマをEメールで事務局宛て申請して下さい。

■執 筆 要 綱　：　日本経営士会研究論文執筆要綱による
＊事前申請を提出された方に、執筆要綱をお知らせします。

■論文締切り　：　2019年7月5日（金）

■応 募 方 法　：　メール添付またはデータで下記へお送りください。
〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル
一般社団法人日本経営士会　事務局
Eメール：office@keieishikai.com

■論 文 審 査　：　厳選に審査し、7月末に結果をお知らせする予定です。

■論 文 発 表　：　第53回経営士全国研究会議（京都）において行います。

■論　文　賞　：　賞状及び副賞

論文執筆要綱変更のお知らせ

1. 2018年度第52回経営士全国研究会議で受賞した投稿論文に執筆要綱を満たしていないなどの問題指摘の手紙が本部に寄せられました。

2. この指摘内容を精査したところ、論文執筆要綱に対する見解の相違が生じていることが判明しました。

3. 日本経営士会としては、要綱の明確化のために以下の点で見直し下記(1)から(5)までを追加することにしました。

(1)自著で過去に公表した内容の一部を全国研究会議の論文として投稿する場合、寄与する社会的価値を示す内容を論文に付けて投稿する。

(2)「他の団体等に投稿した論文ーー」の団体の中に「学会」も含まれている事を明記する。

(3)「他の団体等」の“等”について定義を明確にする。

(4)日本経営士会の「社会的意義」は定款第3条に示すもので、審査は外部審査員を含め、公正且つ厳正に行うものとする。

(5)審査基準は論文価値をもとに①分かり易さ　②独創性　③実践的　④論理的　⑤期待効果の視点から審査を行う。

尚、2018年度第52回経営士全国研究会議で受賞した当該受賞者は、自ら受賞辞退の申し入れがあった為、日本経営士会として受理しました。

日本経営士会 研究論文執筆要綱

この論文執筆要綱は、日本経営士会が一般社団法人としてオープンな組織を目指し、経営士の研究論文の社会的価値を高めることを目的に定めるものである。

＜形　式＞

◇原稿はパソコンで作成する。

◇文字字体は、MS明朝体で作成する。

◇現行のサイズは、A4用紙縦置き横書きとし、余白は上下3.5センチ、左右3センチとする。

◇文字の大きさは、見出しについては12ポイント、論文要旨8ポイント、本文10.5ポイントとする。謝辞・あとがきは10.5ポイント、参考文献等8ポイントとする。

◇文章は常用漢字と現代仮名使いとし、アルファベットは活字体とする。

◇数字は半角数字を原則とする。ただし、見出し等については全角数字を許容する。

◇原稿枚数は、A4用紙8枚以上、10枚以内とし、ページ番号を記載する。

＜論文の構成＞

◇表　題

◇要　旨

◇本　文　（緒言、研究・調査方法、結果･考察、結論）

◇謝　辞／あとがき

◇補注、図表、参考文献

＜表　題＞

◇表題（タイトル）は下記のように記載すること。

論文タイトル　：○○○○○○○○○○○
（副題がある場合にはカッコ書きで記載）
著者名　：○○ ○○
会員番号　：（○○○○）
所属支部・県会：○○○支部・○○県会

＜要　旨＞

◇要旨は、表題に続いて記述する。

◇要旨は、論文のおおよその内容を要約し、300字～500字以内で記述する。

＜本　文＞

◇本文は、要旨から2行をあけて記述する。

◇本文は、「緒言」「研究・調査方法」「結果・考察」「結論」の順に記述する。

◇「緒言」とは、本論文の意義や目的などを記述するもの。

◇「研究・調査方法」とは、研究・解析・調査など、実際に取組んだ手段・方法等について記述するもの。

◇「結果・考察」とは、研究・調査の結果、成果の考察、既知見との関係などについて記述するもの。

◇「結論」とは、研究・調査によって得られた結論に対する総合的な記述。

◇「謝辞／あとがき」は、本文に続いて、調査・研究・執筆における協力者へ感謝の意を述べる。（通常、研究などは協力者があって実現することが多いことから、社会通念上の礼儀として必ず謝辞を述べる）

＜補注、図表、参考文献＞

◇「補注」を必要とする場合は、本文該当箇所に番号等で明示し、参考文献の前に、一括して番号をつけて掲載する。

◇「図表」は、直接原稿に貼り付け、本文と図表を関連づける「図番号・表番号」をつけて記載する。

◇「参考文献」は、本文や補注で言及したもの、及び図表で引用した全てのものを、引用順に番号をつけて文末にまとめて記載する。（自著も含む）

自著で過去に公表した内容の一部を全国研究会議として投稿する場合、寄与する社会的価値を示す内容を論文に付けて投稿すること。

記載の方法は、「著書タイトル」、「著者名（フルネームで）」、「出版社名」、「発行年（西暦で）」の順に記載する。

例：『地球環境論』平成太郎　日本環境出版社（2007年）
『JIS環境マネジメント2007』　日本規格協会（2007年）
なお具体的に引用をした場合には、上記の他に引用をしたページを記載する。
また同時に引用した箇所には、肩括弧で参考文献の連続番号を付記する。

◇インターネットからの引用は、「ホームページ名」、「URL」、「アクセス日」を明記する。

＜論文の制限および著作権＞

◇他の団体等に投稿した論文(原則、明らかに同文と思われる部分掲載を含む)は受理しない。後日発覚した場合は評価の取り消しを行なう。

＊「団体等」とは規模の大小を問わず、財団法人、社団法人は勿論の事、学会、組合、教育機関、公共団体、市民団体を含めた広義の全ての集合体を指す。

◇当会に投稿した論文は、**未発表**のものに限る。経営士全国研究会議等における正式な発表までは、公表を禁止する。

◇研究論文の著作権は本人に帰属する。

◇研究論文の著作権の使用(複製権・翻訳権・出版権)については、一般社団法人日本経営士会に帰属する。ただし、本人が自らの用途に使用することについては制限しない。

(イメージ)

論文名　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

(―＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊―)

著作者　　経営士　○○ ○○

(会員番号１２３４)

○○支部　○○県会

(論文要旨)　8ポイント　(300字～ 500字)

・・
・・
・・
・・
・・

(論文本文)　10.5ポイント

・・
・・
・・
・・
・・

(謝辞／あとがき)　10.5ポイント

・・
・・

今回の研究論文の執筆に際しましては、○○○○の○○様、○○○○の○○様に多大なご尽力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

『参考文献』　8ポイント

1)『地球環境論』平成太郎著　日本環境出版社(2007年)
2)・・・・・・・・・・・・・・・
3)・・・・・・・・・・・・・・・

理事会通信

＜平成30年度 第五回定例理事会＞

記

日　時：平成31年2月8日（金）　13：30〜15：30
会　場：本部会議室

≪審議事項≫

第1号議案：平成31年度予算骨子について

佐藤副会長より資料に沿って説明があり、資料を基に平成31年度予算案を作成することが審議の結果、全会一致で承認された。

第2号議案：産業能率大学との連携事業及び規定等の見直しについて

鈴木理事より資料に沿って説明があり、産業能率大学との連携は全会一致を以って承認された。今後は産業能率大学と密に連絡を取り、来年度中頃には本格的な連携体制を確立することとなった。また、連携事業に伴い、「資格に関する規程」の条文を一部変更することが審議の結果、全会一致を以って承認された。

第3号議案：第53回経営士全国研究会議京都大会について

近藤専務理事より第53回経営士全国研究会議のサブテーマの確認があり、審議の結果、全会一致を以って承認された。

第4号議案：健康経営事業について

藤本理事、鈴木理事より資料に基づき現状説明があり、「NPO法人健康経営研究会」等とのコラボレーションを考えながら、事業展開を進めていく事が審議の結果、全会一致を以って承認された。また「健康管理経営士」の商標登録をすることが全会一致を以って承認された。

第5号議案：環境CSR事業部からの提案

津田理事より資料に沿って説明があり、①SDGsに対して日本経営士会として取組むこと、②「環境CSR事業部」を現在の状況を考慮して「CSR環境事業部」に変更の提案があり、審議の結果、全会一致を以って承認された。

≪報告事項≫

(1)新HPの進捗状況について

加藤副会長より新HPの枠組がほぼ完成し、補助金の申請を行っている報告があった。

(2)平成30年度資金繰りの報告について

佐藤副会長より資料に沿って説明が行われた。

(3)経営支援事業部からの提案

佐藤副会長よりe-ラーニングを使用した講座の配信が3月から開始する報告が行なわれた。

(4)生産性向上支援訓練について

近藤専務理事より現状の受注額、平成31年度の申請状況の報告が行なわれた。

以　上

事業部活動

「北村経夫 参議院議員」訪問報告

業務執行理事(外部連携事業部担当)
藤本 賢司

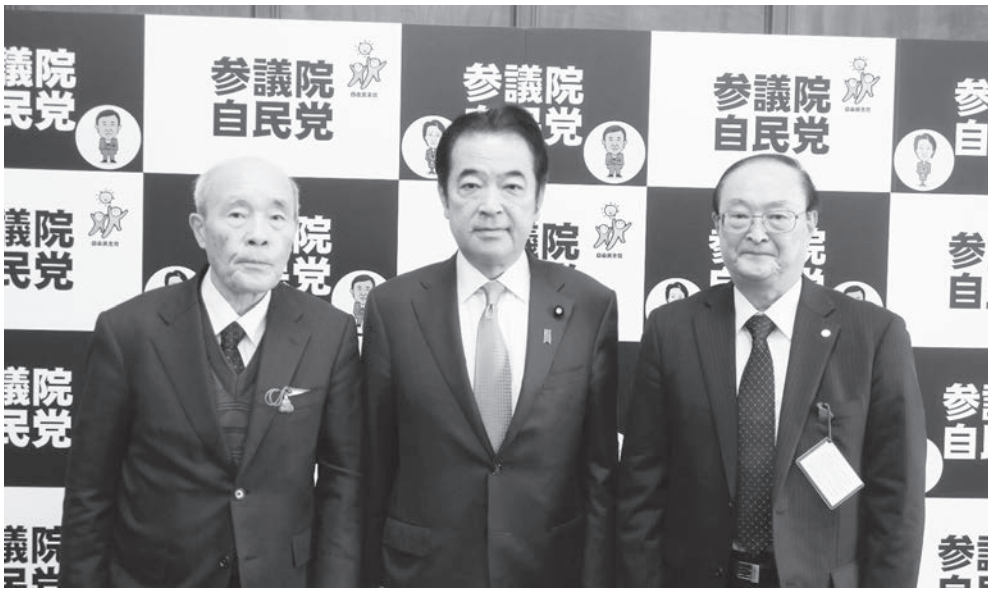
今年の2月、北村経夫参議院議員を訪問しました。

参議院議員・北村経夫氏は、全国区選出の自由民主党所属で、山口県田布施町の出身。中央大学を卒業後、ペンシルベニア大学院の修士課程を修了。「産経新聞社」に入社し、政治部長・論説委員・編集長を経て執行役員を務め、2013年 参議院議員(全国比例)に当選されました。現在、自由民主党・副幹事長、環境関係団体委員会・委員長、商工・中小企業団体委員会・副委員長、経済産業委員会・委員、選挙対策副委員長や拉致問題特別委員会・筆頭理事など自民党主要役職も数多く兼務されています。

福井浩CSR環境事業部長とご一緒に、国会議事堂の自民党幹事長室で1時間余面談していただきました。丁度、国会が開催中で7月の参議院議員選挙(予定)を控え、多忙の中、一般社団法人日本経営士会の活動概要と「環境経営士」資格授与状況や今後の構想等について熱心に聞いていただき、質問もお受けしました。

福井事業部長が纏められた冊子　①「環境CSR事業」の生い立ち　②「環境経営士養成講座」事業内容と実績　③「コンパクトエコシステム」を中小企業に普及させる事業の進捗状況　④「コンパクトCSRシステム」を取り巻く社会環境と問題点　等を基に詳しく説明しました。

最後に、EMSやCSRシステムを中小企業に普及させるために「国」の支援と協力をお願いし、今後政策秘書の方々と話し合いを重ねて行くことになりました。北村議員は、経済産業大臣政務官も経験されており、経済・産業分野に明るく現職として関係しておられる「環境関係団体委員会」や「商工・中小企業団体委員会」「経済産業委員会」等の幅広い活動の中で、今後「日本経営士会」のマネジメント事業活動展開に大いに尽力していただける事になると期待しています。



(国会議事堂　自民党幹事長室前で北村経夫参議院議員と)

委員会活動

e-ラーニング講座「AirCourse」受講者募集のご案内

経営支援事業部

経営支援事業部では、e-ラーニングプラットフォーム「AirCourse」を導入し、本年3月から、オリジナル「e-ラーニング講座」の配信を開始いたしました。

「AirCourse」は、マルチデバイス対応となっていますので、セミナーや講演等の動画を、お時間や場所を選ばず、PC、スマホ、タブレットなど様々なデバイスで視聴いただくことが可能です。よって、地方在住の会員の方や、休日に開催するセミナー等に参加する時間が取れない会員の方でも、オンライン上で手軽に各種セミナーをご受講いただくことができるようになりました。

現在は以下の3講座の配信を開始していますが、受講者からご好評をいただいています。つきましては、あなたも「AirCourse」でご希望の講座を受講され、ご自身のスキルアップ等にご活用ください。

■「AirCourse」にて配信中の講座

1. キャッシュフロー計算書講座　（約2時間）

・学習内容：キャッシュフロー計算書、変動損益計算書等の理解ほか
・講　　師：木下忠夫（経営支援アドバイザー）
・受 講 料：￥3,000（税込）

2. 事業分析と戦略立案講座　（約2時間）

・学習内容：戦略立案の策定フロー、事業分析と戦略定石ほか
・講　　師：川崎隆夫（経営支援アドバイザー）
・受 講 料：￥3,000（税込）

3. 中小企業会計と財務諸表の見方講座　（約2時間）

・学習内容：損益計算書、貸借対照表、販売費及び一般管理費（内訳書、製造原価報告書含む）ほか
・講　　師：豊田賢治（経営支援アドバイザー）
・受 講 料：￥3,000（税込）

＊上記3講座は、2018年11月9日に実施した「会計＆戦略立案講座（経営改善プロ養成講座第1日）」の講義を、動画撮影したものです。
＊各講座の詳細やお申込み方法等は、日本経営士会HPでご確認ください。

ご受講のお申し込みのみならず、各支部や各部門等で開催した講演やセミナー等の動画を、「AirCourse」を活用して会員向けに配信したいなどのご希望がございましたら、以下までお問い合わせください。

◆日本経営士会本部事務局　竹下：TEL. 03-3239-0691　E-mail：office@keieishikai.com

経営支援事業部

〆切間近！　このチャンスを逃すと次は１年後までありません!!
クライアントと簡単に長期契約できる〇〇の方法

『経営革新計画プロフェッショナル養成講座』
「経営支援アドバイザー」資格取得講座

■ 受講メリット

・経営計画策定支援はコンサルの総合力が要求されます！
　そのためスキルが高いコンサルタントとして評価されます。
・商工会議所等からの仕事を受けやすくなります。
・経営革新計画策定後の計画実行も支援すれば企業と長期の関係を築けます。
・経営革新計画策定のスキルは、経営計画策定他、幅広い支援に活用できます。
・経営革新計画は補助金申請にも有利になります。
・経営革新計画認定企業は銀行、取引先からの信用が高まり事業に好影響があります。

経営革新計画とは、新たな取り組みを行う中期計画

■ カリキュラム

第1日

時間	内容	時間	担当講師
10:00 ～ 10:10	**開講にあたって** 副会長挨拶、開催の目的と進め方、講師・受講者紹介	10 分	佐藤
10:10 ～ 10:30	**経営支援アドバイザーと認定支援機関の役割** 認定支援機関及び経営支援アドバイザーの役割について	20 分	豊田
10:30 ～ 12:00	**経営革新計画の紹介と申請書の書き方** 承認の特典、審査基準、書き方、ヒアリング項目	90 分	越智
12:00 ～ 13:00	昼食	60 分	
13:00 ～ 14:30	**事業開発とマーケティングの基礎** 市場環境分析（3Cほか）、リサーチの方法、STP、マーケティング・ミックス、ビジネスモデルの開発　等	90 分	豊田
14:30 ～ 14:40	休憩	10 分	
14:40 ～ 16:10	**損益計算書と貸借対照表の見方** 付加価値、経常利益、減価償却費、他	90 分	豊田
16:10 ～ 16:20	休憩	10 分	
16:20 ～ 18:00	**経営革新計画演習** 1）演習の進め方について 2）与件情報の説明 3）質疑応答 4）個人演習	100 分	越智 豊田

第2日

時間	内容	時間	担当講師
9:30 ～ 14:20	**経営革新計画作成演習** 演習続き （途中12時～13時　昼食）	290 分	越智 豊田
14:20 ～ 14:30	休憩	10 分	
14:30 ～ 16:00	**経営革新計画プレゼンテーション** 1）有志3～4名の発表 2）質疑応答 3）講評	90 分	越智 豊田
16:00 ～ 16:10	休憩	10 分	
16:10 ～ 16:40	**経営革新計画案件等受注ケーススタディ** 1）体験者の事例紹介 2）質疑応答	30 分	豊田 越智
16:40 ～ 17:10	**政策関連** 経営力向上計画、先端設備等導入計画、ものづくり補助金等	30 分	越智
17:10 ～ 17:30	**受講後アンケート記入** **修了式**	20 分	青木

カリキュラム及び時間配分は変更することがあります。

●開催日：　２０１９年５月１８日（土）～５月１９日（日）

●会　場：（一社）日本健康機構　セミナールーム　東京都中央区日本橋小網町18ー7　小網ビル3階

●定　員：　２０名

●受講料：　３０,０００円（税込）

●申込締切日：２０１９年５月１３（月）　＜先着順＞

●問合せ先：　本部事務局　竹下　TEL　03ー3239ー0691

委員会活動

CSR環境事業部からお知らせ

CSR環境事業部

5月1日に平成に代わる元号を定める改元が行なわれ「令和元年」を迎えることができました。

会員の皆さまには、一般社団法人　日本経営士会・CSR環境事業部を、日頃からご支援・ご鞭撻を頂き、まことにありがとうございます。また、CSR環境経営の普及、発展にご活躍されていることと心よりお祈りもうし上げます。

さて、新時代の幕開けに伴いSDGsを基盤とした「CSR環境経営」を企業へ助言・支援を行うプロ育成集団として、中小企業にとってもCSR環境経営が基本であります。すでにご承知かと思いますが「環境経営士®」養成講座は、「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律（第11条）」により環境省、経済産業省、農林水産省、文部科学省、国土交通省の認定を受けていることから、現状の認定証を新たなデザインに変更した認定証といたしました。

つきましては、新デザインの認定証をご希望される方は、一枚1,500円の有償となりますが、下記申込書を利用し当該項目に記載して「FAXかE-mailなど」で、本部・事務局へ送信して頂きますよう、お願い申し上げます。送金については、銀行口座振込みか現金書留でお願い致します。

尚、旧認定証につきましても有効期限まで使用可能となりますのでご安心ください。

（CSR環境事業部：本田　哲行）

新デザイン「環境経営士®」証のサンプル　〈2019-07で承認済み〉

新環境経営士®証の申込書

環境経営士®証の申込書は、メール（またはFAX）で、下記宛にお送りください。

一般社団法人 日本経営士会　本部・事務局

◇FAX：03-3239-1831　　◇E-mail：office@keieishikai.com

□ 新環境経営士®証を申込みます。［一枚:1,500円をお振込み又は、現金書留でお送りください。］

●振込み先：**三井住友銀行 麹町支店 普通預金 7166277**　一般社団法人日本経営士会

◆氏 名（フリガナ）：　　（　　）◆生年月日：　　年　　月　　日

◆環境経営士の認定番号：第００　　号　　◆認定年月：　　年　　月

◆ご連絡先　電話：　　◆メールアドレス：

□振込み・送金済［2019年　　月　　日］　　□振込み・送金予定［2019年　　月　　日］

委員会活動

MPP委員会からのお知らせ

MPP委員会

＜リーダー研修担当講師講習＞

3/14日、本部会議室にて今後、リーダー養成・更新の講師を担える育成講義を行いました。3/22, 23日は、河上晃講師が九州支部にて担当。6月下旬から7月には台湾支部にて岩井美喜夫講師が担当予定です。新年度のリーダー養成と更新について各支部担当者に追ってご連絡します。

（九州でのリーダー養成と更新の様子）

（リーダー養成講師講習受講者）

＜平成30年度活動報告、新年度計画委員会＞

4/4日MPP委員会全体会議にて①新ケースの認定、②リーダーマニュアルの見直し、③リーダー研修報告、④新年度計画を審議、可決されました。新ケースにつきましては7本が登録されました。今後、CD化され各支部担当者に配布です。

（MPP委員会全体会議）

＜これから開催のMPP＞

- 4/13
  中日本ブロック合同MPP
  武蔵浦和サウスピア（埼玉支部）
- 4/27, 5/12, 18, 19, 26, 6/2
  山梨支援センター春季MPP
  韮崎市民交流センター
- 6/15
  中日本ブロック合同MPP
  本部会議室
- 8/31
  NJK in 新潟 コラボMPP
  越後湯沢 東映ホテル

開催予定のMPPは経営士会HPでもご覧いただけます。
詳細は直接主幹支部にお問い合わせください。

新登録ケース 決定日：平成31年3月31日（平成30年度実績にカウント）

1. 申請元：中国支部
ケース名：「派遣体質から脱却し、自社独自事業を立ち上げ更なる発展を目指す」
ケース番号：21-051-205［総合経営×戦略］

2. 申請元：女性経営士の会 NJK
ケース名：「老舗和菓子店女性経営者の決断」
ケース番号：31-029-177［総合経営×企業再建］

3. 申請元：近畿支部
ケース名：「大都市近郊にある清酒醸造会社の苦悩」※
ケース番号：24-022-197［販売×戦略］

4. 申請元：近畿支部
ケース名：「事業承継をどのように進めるか」
ケース番号：55-001-001［人事×その他］

5. 申請元：近畿支部
ケース名：「社員のキャリア開発」
ケース番号：25-005-204［人事×戦略］

6. 申請元：近畿支部
ケース名：「独自ブランドの構築（下請け企業からの脱皮）」
ケース番号：24-023-198［販売×戦略］

7. 申請元：近畿支部
ケース名：「老舗印刷会社　社長へのアドバイス」※
ケース番号：51-011-187［総合経営×その他］

※は申請後ケース名変更

MPP委員会からのお知らせ
各支部担当者様は、今年度開催予定のMPP研究会を本部MPP担当田中にお知らせください。

女性経営士の会 NJK活動報告

◎ 女性ネットワークの全国展開を目指して～報告会開催

3月24日NJKの2018年度活動報告と2019年度の活動計画報告会を開催致しました。今年度は、地域女性会との連携強化を目指し、第53回経営士全国研究会議（京都大会）懇親会での各地域女性会の紹介、WEB会議の実現、新潟でのMPPなど各地域主体行事の計画をし、運営体制を業務集中型から担当制に見直し、推進してまいります。

◎ NJK主催『新しいし資金調達の仕方クラウドファンディング ～献上桃の郷　福島県桑折町の復興支援プロジェクトを事例として～』セミナー開催

4月7日（日）リニューアルした本部会議室で32名と大変多くのご出席を頂き、満室での開催となりました。ご多用の折、遠方からもご参加頂き、深く感謝申し上げます。青木会長の挨拶でスタートした今回の講演は、吉村経営コンサルタント代表　吉村　千鶴子氏を迎え、クラウドファンディングの基礎的な仕組みから推進方法、復興支援に根ざした「福ももの酢プロジェクト」を推進支援に即し、核となる想いやストーリーを作り上げることの重要性、苦労やポイントをお話し頂きました。プロジェクトオーナーの（株）T plus creation 代表鶴町　伸子様にも「できない」と思っていたことが実現できた喜びをお話し頂き、クラウドファンディングで製品化した「福ももの酢」の試飲などを交え、和やかに進行し、多くの質疑で活発なセミナーとなりました。これからもNJKは輝く女性達の活躍をお伝えし、皆様に役立つ情報のご提供をしていきます。

これからのNJK

・7/9（火）

場所：中部大学東京事務所

外部参加可能

外部講演

『出会った0.1秒で売上が決まる！～印象力で相手の心を一瞬でつかむ方法～』

講師：柳沼　佐千子　氏（印象エキスパート株式会社　代表取締役）

『相手の心を読む方法～観察力と仮説検証での聞く力～』

講師：児玉　充晴　氏（中部大学 経営情報学部　教授・工学博士）

印象エキスパート株式会社 代表取締役　柳沼 佐千子氏は、多数の講演実績を抱え、本来、高価値の貴重な講演をご好意でお受け頂きました。出会いを「脳」から戦略的に組み立てる、印象力が売上アップのキーポイントなど興味深いお話しを聞けるチャンスです。奮ってご参加下さい。

- 7/28（日）　働き方改革と会議ソリューション活用セミナー（タイトル未定）
  於：本部会議室　　講師：土橋るみこ　外部参加可能
- 8/31（土）　女性リーダーによるMPP新潟　於：越後湯沢　東映ホテル　外部参加可能
- 9/14（土）　第53回経営士全国研究会議 懇親会にて女性会ネットワーク紹介 於：京都タワーホール
- 10月下旬　東京ウィメンズプラザフォーラム（参加予定）　外部参加可能
- 12月初旬　YJK（山梨）連携企画（内容未定）　外部参加可能

○NJKは男女の差なく、会員が活躍できる機会を増やすお手伝いをしています。
○NJKとコミュニケーションの輪を広げましょう。コラボ希望の支部随時募集中。

【お問合せ】TEL：090－1812－9812　島影（bzu03624@nifty.com）

生産研究会通信

第5回生産研究会の報告

生産部会では、第5回生産研究会を3月1日(金)に三鷹商工会館で開催いたしました。

生産研究会は、昨年4月に立ち上げ、デジタル技術と生産改革に関心の高い日本経営士会の有志により、ものづくりと生産性向上に向けた調査・研究を重ねてまいりました。

第5回生産研究会の実施内容についてご報告いたします。

1. 参加者：10名

2. 生産研究会プログラム：

2.1 ものづくり新情報の報告

①ロボット活用最前線　～ヒトではなく、ロボットを走らせろ！

②新情報・話題の報告

2.2 課題討議

次世代無線通信規格「5G」が技術革新の起爆剤になりうるか

3. 発表内容・討議について：

3.1 ものづくり新情報の報告

①ロボット活用最前線　　西　満幸 氏(経営士、技術士)

西講師より、進化するロボットの活用と産業・サービス分野での活用最前線について、下記内容について発表がありました。

◆低い日本の生産性

◆ロボット新戦略の取組状況

◆世界のロボット産業について

・世界のロボット産業6.2兆円

・産業ロボット稼働台数2017年210万台：日米独中韓72%、日本シェア14%(販売高360億ドル、5年間で倍増、中国の伸びが顕著)

・生産台数と販売先：世界計38万台(2017年)

・世界のロボット市場：2025年8兆円(製造業1.4兆円、AI3兆円)

・製造向けロボット市場：2025/2016年で1.6倍、全体の伸び2.9倍より小

◆企業の導入事例を紹介：人協働型ロボット、RPA　ロボットと人の協働等

②新情報・話題の報告　　山本　忠 氏(経営士)

話題の次世代無線通信規格「5G」の現況と実用化・課題についての発表と次の紹介がありました。

“Connected Industries”推進に向けた我が国製造業の課題と今後の取組
（平成30年12月　経済産業産業局　ものづくり政策審議室）
特に世界で競争が繰り広げられてれている5G基地局の攻防と5Gスマホの先陣争いおよび広がるビジネス拡大の動向について注視することが強調されました。

3.2 課題討議：

皆さんで人手不足・生産性向上に向けたロボットの有効な活用いついて、議論するとともに米中韓に後れを取っている5G技術に着目し、今後のビジネスの展開と活用を注視することに致しました。

（生産研究会討議の様子）

第6回生産研究会開催のご案内
皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時：5月31日（金）　午後6時～8時50分
2. 三鷹商工会館：JR三鷹駅南口より徒歩約7分、中央通り果物（一富士）右折
3. プログラム
   ◆生産性向上に向けた最新情報、取組話題の報告
   ◆AI、ロボット活用企業事例（中小企業）の研究
4. 参加費：2,000円

｛申込み｝〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5F
日本経営士会　生産研究会
担　当：平山道雄［☎ 042-243-1034］
連絡先：山本　忠［☎ 080-6757-1131］
E-mail：yama-chu19-fukuei@swan.ocn.ne.jp

（生産研究会　山本 忠　記）

生産研究会通信

生産研究会への投稿:「製造業のものづくりに関する提言・提案」

九州支部　都市　清

1. はじめに

2018年版「ものづくり白書」(経済産業省)において、我が国の中小製造業の経営課題として、次の4点が挙げられている。①人材の量的不足に加え質的な抜本変化に対応できていない。②従来「強み」と考えてきたものが、変革の足かせになっている。③経済社会のデジタル化等の大変革期を経営者が認識できていない。④非連続的な変革が必要であることを認識できていない(おそれがある)、である。ここで、②の従来「強み」と考えてきたものが、変革の足かせになっている。に関して提言・提案(考察)する。

2. 中小製造業の生産形態と新規事業の開発について

製造業の生産形態は、受注生産型と見込み生産型に分類できる。①受注生産型の企業は、受注先からの注文品を仕様書通りに加工して、納品する体質であるため、自ら新しい発想を出して、新しい製品の開発を進めることが難しい。一方、②見込み生産型は、自社製品を開発し、自社が製造元、事業主体となる生産形態であるため、製品のライフサイクルを勘案して、常に次の新製品を目指した技術開発(研究開発)が必要である。その方法としては、①自社のみで行う。②関連企業と連携する。③公設試・大学を活用する。④他の支援機関を利用する。等がある。しかし、実施に当たっては、それぞれの企業によって、経営状態、技術(シーズ・ニーズ)の内容、技術レベル、人材等が異なるため、①から④の内どれを選択するか、自社の状況を見極めて決めることが肝要である。

3. 製品のライフサイクルについて

製造業において、一つの製品は一般的に、導入期→成長期→成熟期→衰退期を経て消滅するが、この期間は業種・品種によって夫々に異なり、3 ～ 5年、長いもので10年程度である。

上記の1-②従来「強み」と考えてきたものが、変革の足かせになっているとは、従来から良く売れていた製品の売り上げが徐々に減少している状態で、製品のライフサイクルの成熟期から衰退期に入っているものだと推察できる。このため、見込み生産型の製造業では、常に次の新製品を目指して新技術・新製品(研究開発)開発が必要である。

4. 提言・提案について

受注生産型の企業では、生産性の向上が図れるような機械・装置(IoT等)の導入を行う。また、見込み生産型は常に次の新製品を目指した技術開発が必要である。しかし、何れの場合でも多額の設備導入資金、技術開発資金が必要で実施に当たっては経営を圧迫することから、国の補助金(ものづくり補助金等)を活用するこが有効である。これらのことを踏まえて生産研究会では、中小製造業の支援・指導(申請書の作成法等)を行うことを提案する。

5. おわりに中小製造業を取り巻く経営環境(外部、内部)は、厳しい状況だと推察できる。

設備導入、新技術・新製品(研究開発)投資では、国の補助金を有効に活用して、生産性の向上及び新製品の開発が促進できることを願うものである。

以上

経営士養成講座・第48期修了・第49期開講

【第48期経営士養成講座・修了】

2019年1月13日（日）に開講しました第48期経営士養成講座は中日本ブロック・東京支部が主管で運営し（本部共催）、9名の受講者が最後まで熱心に受講いただき、3月23日（土）に無事修了しました。

＜実務研修＞

今回の実務研修先は、東京西麻布にある「季朝懐石料理店」で、創業55年の歴史と味。そして経営者が業界内でのブランドの高さもあるオンリーワン企業で、問題点・課題を見つけること自体が困難なケースでした。しかし、研修生は、講座の研修の為の提案に留まらず、提案が経営者の心に届き本提案を取り入れ実現可能なプロジェクトをスタートしていただける提案書の作成に力を入れました。お客様が将来なりたい姿を定義し、現状とのギャップによる経営課題を抽出しその解決策を提案。さらに、社会課題（SDGs、少子高齢化、働き方改革、環境問題。）、BCPや事業継承等事業継続に対してその施策の提案などを盛り込みました。その結果、経営者から今後の事業計画策定の際に大いに活用させていただくとのお言葉をいただくことができました。

＜修了時アンケート＞

★この度の研修で学んだ事を活かさせて頂き、お客様の主治医の様に最も関わりの深く、最も大切な関わりの存在として、本当のソリューションコンサルタントに成れるように誠心誠意でお客様の課題解決に全力で臨みます。

★「経営士」の資格を持たせて頂く事で、自らの行動を律し、プライドを持った行動を心掛けます。

★今までのITや営業の領域コンサルタントから、経営コンサルタントとして経営課題を捉え経営者にアドレスする為の基礎知識と方法論や社会課題等の整理と準備ができてきたと思います。

★本講座で習得した証明された経営コンサルティング手法を共通のフレームワークとすることで、異なる価値観のメンバー同士であっても協業は可能で、プロジェクトを進めることができると確信しました。

修了されました9名の内2名は既に推薦により入会済。5名の方が3月29日付けで入会されました。あと2名の方が業務都合により6月入会見込みです。今後の経営士としての活躍を期待します。

（専務理事　近藤安弘・理事／塾長　鈴木和男）

（第48期 講義の様子）

（第48期 修了式）

【第49期経営士養成講座・開講】

2019年4月6日(土)に第49期経営士養成講座は受講生6名を迎え開講しました。

主管は中日本ブロック・南関東支部(本部共催)です。受講者は千葉・埼玉・神奈川・静岡・奈良・兵庫、各地域から参加いただきまして、6月までの3か月間研修します。

(専務理事　近藤安弘・支部長／塾長　戸部廣康)

(第49期 開講式)

(第49期 オリエンテーション)

第50期　経営士養成講座開催のお知らせ

本部・中日本ブロック共催

一般社団法人日本経営士会は
次代を担う経営コンサルタントを養成します

◆開　催　日：全10回　(土・日曜日を中心に開催)

(6月29日開講、7/6、7/14、7/27、8/3、8/4、8/17、8/24、8/31、9月8日修了)

◆会　　場：一般社団法人日本経営士会　本部会議室

(〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5F会議室)

◆募 集 人 員：16名(定員になり次第締め切らせていただきます)

◆受　講　料：200,000円(消費税込)

◆お問合わせ：一般社団法人日本経営士会　事務局

TEL　03-3239-0691　　E-mail　office@keieishikai.com

◆詳細は、ホームページでご確認下さい。

✿会員各位へお願い

経営士、日本経営士会にご関心のある方へ是非経営士養成講座の受講を勧めて下さい。

寄稿

武術と健康に関する話　（第12回）

平　直行

■ 無意識の運動指令とは？

（現代）
医療とスポーツが発達し身心が衰弱した肉体に悩む時代

前回の予告通り、今回は無意識の運動理論に関して書きます。人が体を動かす時には自分の意思で体を動かします。今この文章を読んでいるのも自分の意思による行動です。椅子に座って読んでいる人もいるし、寝そべって読んでいる人もいます。もしかしたら通勤電車で立って読んでいる人もいるかもしれません。少し想像してみてください。同じ座るという行動をしているのに一体何故みんな同じ座る姿勢にならないのでしょうか？寝そべるというのも同じ行動でそれぞれの寝そべり方の形になります。電車で立つという行動も同じです。満員電車の沢山の人数の中でさえ同じ立ち方の人を探すのは難しいですね。

この理由は体を動かす指令がもう一つあるからです。現代では、その存在を知ってはいますが、詳細なことまではまだ解明されていないのがこの理論です。例えば熱い物に手を触れると自分の意思ではなく勝手に手を離します。これは脊髄反射と呼ばれる意思を超える本能的な動きです。くしゃみをするのも同じです。体には体を正常に維持する為に働くもう一つの運動指令があります。体全体を自分の意思で掌握してコントロールすることは不可能です。ですから無意識に体をコントロールする体の働きの器官。無意識の運動指令が存在しています。

この文章を読んでいる時にも、自分では気がつかないだけで、読んでいる時の目は瞬きをしていますし、涙も目が乾かないように適切に目を潤してくれています。呼吸も自分の意思ではなく体が適切に行なってくれています。もしかしたら、今少し前に食べた物を消化しているかもしれません。消化も当然体の動きです。心臓も動いていますし、血液も循環しています。細胞の一つひとつは、今も自分の意思を超えて、生きる為に最適な動きを行なっています。人には意識できないほどに沢山の体の動きがあります。意識していては間に合わないので無意識に行なっています。

この働きは体の内側だけではなく、体の外側にも同じように存在しています。熱い物に手を触れたら、考えなくとも一瞬で手を離すことが分かりやすい例です。

体の外側とは地球の表面であり、地球に存在し手で触れる総てになります。人は歩くという意

思による行動だけでどこでも歩く事が出来ます。砂浜でも険しい山道でも何も考えないで歩く事が出来ます。ところがその際には体の奥から詳細な情報を処理した動きの変化が起きています。ロボットはこの指令を持たないので歩く場所が変われば歩けないのです。

座るという同じ行動がそれぞれ別の座る形になるのは、無意識の運動指令が適切に働くからになります。例えば肩や腰が痛い場合には無意識にかばう姿勢になります。これと同じことを常に人は無意識で行なっています。その人の体の状態、表面の筋肉の状態、内臓の状態、あるいは精神の状態も含み、体はその時に最適な姿勢を常に維持します。そして必要に応じて姿勢をも変えてくれます。これも無意識の運動指令の働きで、これが狂えば体はどんどんおかしくなってしまいます。庇う筈の動きが狂えば、体はもっとおかしくなってしまうからです。

無意識の運動指令が正常にキャッチして働く為の情報は、人が行動する本来の自然のある地球に合わせて出来ています。無意識の運動指令は産まれた時に体が本来持っている機能です。しかし、人が便利にした現代の環境では、産まれてベッドに寝かされた瞬間に本来の能力を発揮出来ないのが知られざる現状になります。

産まれながらに設定されていない環境で暮らせば無意識の運動指令は狂っていきます。

自然の中で暮らせば、体が本来持っている環境との調整能力が、体を自由自在に勝手に動かしてくれます。人は何も運動等しなくともただ産まれた場所で生活の為に行なう行動だけで健康で強靭な肉体を誰でも平等に手に入れる事が出来ます。本来の環境で暮らさなければどんな努力をしても無意識の運動指令からの情報が狂っているので体はおかしくなっていきます。舗装道路を上質な運動靴で走っても、体は少しずつ壊れていきます。そうでなければオリンピックのランナーは世界屈指の健康な体をずっと維持出来るに違いがないのです。

（昔）
ただ暮らすだけで健康で強靭体を持った時代

このもう一つの運動指令の存在に気がつき、その活用法をまとめたものが東洋の武術、そして医術の根幹になります。武術とは、自分の意思ではなく地球の力を借りることで強くなる。これが武術の口伝です。人は何の努力をしなくとも自然の中で暮らすと他の野生動物と同じような健康で強靭な肉体を手に入れる事が出来る。その力は自分の意思ではなく、暮らす地球の自然がくれるのです。この理論、無意識の運動指令の活用法は起源前から存在し現代では完全に忘れさられようとしています。今よりも遥かに自然に近い暮らしをしていた紀元前の知恵は、少しの工夫ですぐに現代の暮らしの中でも効力を発揮します。次回は自分の意思ではなく、体の意志無意識の運動指令を使って姿勢を良くするやり方を紹介します。姿勢は健康に大きく関係します。体に悪い箇所が出れば姿勢は悪くなります。姿勢は立つ場所座る場所に大きく関係します。

【平直行先生の施術情報はこちら】 http://strapple-taira.com/yawaragi/index.html

会員の輪

中小企業経営者への会計(計数)マインド教育支援について

九州支部　志村経営士事務所　志村 郁夫

皆様、こんにちは、九州支部(沖縄)の志村郁夫です。

私は、A社在籍中には、化学品の製造予算編成、その予実管理、物流管理、コストダウンの業務に携わっていました。

その後、社内人材交流で板ガラスの販売工事施工会社に派遣されました。

在籍中、経営増進手段と次のステップの準備として2001年6月に経営士資格(財務部門4331)を取得しました。

最後の赴任地沖縄では9年間、中小企業経営に携わる機会に恵まれました。

現地恩人でもあった経営指南役MS氏(故人)の「沖縄の役に立て」との助言のもと定年退職後、当地に居を定め、知見を生かし経営支援を行っています。

その中でも注力し、現在も中心軸に置いて行っているのは「中小企業経営者及びその後継者や管理者への中小企業会計要領を基にした計数教育」です。

経営を評価する物差しは、多種多様の要素が絡み合った結果であり、この結果を基に刷新していくことは十二分に承知し、理解し、経験もしてまいりましたが、誰もが共通して認識できるのは数値(金額)表現であることに異論を挟む余地のないと思います。

代表するものの一つは「決算書」です。

経営改善は、これを読み解く力、その背景に何が潜んでいるかを看破し、行動に結びつけ、いかに従業員のやる気を起こさせ、利益に結びつけ、安心安泰でなおかつ将来発展する企業体にするかにかかっていると言えます。

「決算書」作成に至るまでの間、他に重要で様々なデータが集計されます。

これらを駆使することが重要です。

私が、特に重要視しているのは、「損益分岐点」の理解と運用手法です。

概して、中小企業経営体で発生する費用は変動費(比例費)と固定費に区分することが容易です。

前述の「中小企業会計要領」を参考に注視して構築できれば、次の諸式で解を求めることが出来、経営改善に有効です。

Ⅰ. 損益分岐点売上高＝固定費÷{(売上高−変動費)/売上高(＝限界利益率)}
Ⅱ. 目標利益額(X)達成売上高＝{固定費+(X)}÷{(売上高−変動費)/売上高(＝限界利益率)}
Ⅲ. 損益改善施策
　(1)変動費の削減　(2)固定費の削減
　(3)売上(品目見直し、数量、単価)重点品目販売傾注、単価Up
Ⅳ. Ⅰ.〜Ⅲ.までを考慮にいれた品目別(作業やサービス別)予算編成(魂を入れる)実施、数値目標を明確化し実行年に行動
Ⅴ. Ⅳ.予実管理を毎月実施、PDCAを循環させ予算達成
Ⅵ. Ⅴ.の繰り返しから中長期経営計画を立案と見直し再訂正の立案と見直し

しかし、残念なことに、この域まで達しようと努力する中小の経営者、後継者、管理者の姿があまり見受けられません。

過去において、農水省の「農林漁業ビジネス経営塾」講師として3年間、沖縄本島、離島を隈なく巡回いたしました。

現在は、中小企業庁の「中小企業会計啓発・普及セミナー」講師を5年間引き続いで実施しています。

教材費、講師代金、出張旅費交通費、会議費等は全て所管府の負担です。

にもかかわらず受講者を集めるのに大変苦労しています。

この事業は、国の補助金事業の一貫です。

現ナマ受給でない事業には関心が薄い実態を垣間見ています。

よって、有効なPR活動にかかっている訳です。

その有効策を見出し、活動継続してまいたいと想っています。

更には、会員の皆様の有効策をご教授願えれば誠に幸甚です。

次回号の執筆は九州支部の城ヶ崎会員にお願いいたします。

会員広場

【プロレスと経営】（第13回）

堺　剛

プロレスはショーなのか、スポーツなのか、との議論はプロレスが誕生したころから常にあった。ショーであることが公に明らかにされたのは21世紀に入ってからである。世界最大のプロレス団体WWEは株式公開をする際、プロレスにシナリオがあることを開示した。WWEでは、テレビ生放送もあるため、試合の決め技やマイクアピール等、かなり細かい決め事があるようだ。

一方、日本では、勝負論が重視されるため、その手の話題は長い間タブーとされていた。テレビ局の中では、スポーツ部門が担当するのか、バラエティ部門が担当するのか、が議論になっていたようだが、結局のところ“スポーツ扱い”とされてきた。80年代後半、テレビ朝日がプロレスとバラエティを融合させた『ギブアップまで待てない　～ワールドプロレスリング』を実験的に放映したが、ファンの猛反発により短命に終わった。司会の山田邦子が「血はすぐに止まりますか？」と馳浩（現衆議院議員）に質問し、馳を怒らせたエピソードは有名である。ひょっとしたら、それすらも“シナリオ通り”だったのかもしれない。ちなみに、山田邦子はその後プロレスに夢中になり、今では芸能界一のプロレス通となっている。

プロレスで一番大切なこと、それは信頼関係である。平気でシナリオを破る可能性がある選手の試合はやはり緊張感があるものだ。興行主催者としての猪木はその緊張感を利用し、仲の悪い者同士のマッチメイクを多発した。しかしながら、不穏試合は名勝負にはなりにくい。ファンに語り継がれることはあっても支持を得られることはなかった。

対戦相手の技を受けるということは信頼関係がなければ成り立たない。技を受けるという行為は、相手に命を委ねることになるからだ。相手が技を失敗してしまうと自分が大怪我を負ってしまうのである。

プロレスにおいて、仲間レスラーと信頼関係を築いていくことは非常に大切である。いくら強くてもスター性があっても、仲間からの信頼関係がなければ、自分が引き立つような試合展開にはしてもらえない。信頼されるプロレスラーとして周りから評価されれば、試合展開を楽に作れるようになり、レスラー仲間同士の人間関係も良好になる。団体からも重要なポジションを任せてもらえる。

信頼関係は、短期間で即席につくれるものではなく、日々の、小さな行動の積み重ねが重要である。これはビジネス全般に言えることなのかもしれない。

（続く）

堺　剛：
経営士（会員番号5384）、環境経営士（認定番号244）。
株式会社バーニングスピリッツ代表取締役。バンダイビジュアル株式会社を始めとして、中小企業・外資系企業数社で経理のキャリアを20年以上積み2017年4月会社設立。
【事業内容】 1. 菓子を用いた販売促進物・宣伝物の企画・製作
2. 菓子専門商社業
3. パートタイム経理部長サービス（月次決算早期化、資金繰り表見える化　等）
ホームページ：https://www.burningspirits2017.com/
電話番号：090-2733-0185　E-mail：tsakai@burningspirits2017.com

東北支部活動報告

東北支部

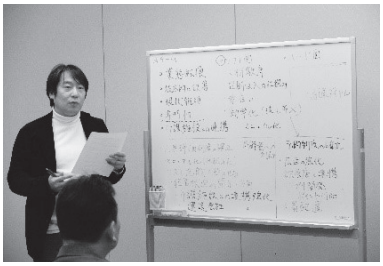
1. 異業種交流MPPを開催しました。

東北支部では、以下の通り異業種交流MPPを開催しました。

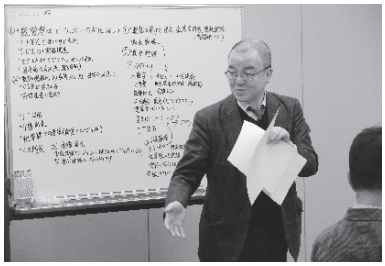
期間：2019年2月23日（土）　13：00 ～ 17：00

場所：ハーネル仙台　5階　けやきA

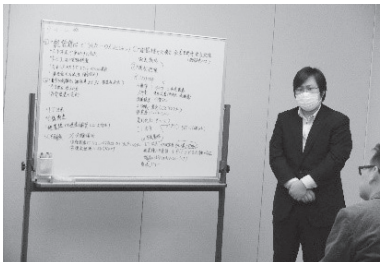
東北支部初の試みであるITコーディネータ3名との異業種交流（他資格）MPPで、佐藤副会長とITコーディネータである表会員の企画で実現しました。モデルケースは、地方のタクシー会社の経営についてでしたが、経営士のみでは出てこないようなITを活用した改善提案等も多くだされ、新しい気づきを得ることができました。ITコーディネータにとっても、経営士の経営コンサルタントの視点での提案も大変参考になったかと思います。今後も継続して開催予定ですので、他の支部の方も含めぜひご参加ください。



（ITコーディネータ　本田さん）



（ITコーディネータ　内山さん）



（ITコーディネータ　岩間さん）

（10名の参加者）

2. 新入会員の紹介

皆様こんにちは。東北支部の柴崎高志と申します。

私は、2018年1月に自動車販売会社を定年退職し、以前から考えておりましたコンサルティング事業を目指しました。事前準備は、1年前から進め会員の方とのご縁があり、たくさんのアドバイスを頂き2018年7月に実現する事が出来ました。それがきっかけで、もっと会員の皆様と情報交換や討議をして自己レベルを上げたいと考え申請し、2018年9月に登録をさせて頂きました。今後は、前職で培った経験やスキルをクライアントの皆様と共有して目標に向け邁進したいと考えております。

（東北支部　表 伸也）

支部活動報告

千葉支部 活動報告　中小企業3Cの会

千葉支部

“中小企業３Cの会”2月度開催報告　(2月23日　船橋中央公民館)
テーマ：福祉人材確保にどう取り組むべきか
講　師：成田国際福祉専門学校校長　佐藤　隆志会員

2月度の“中小企業3Cの会”は支部会員であり成田国際福祉専門学校校長である佐藤　隆志会員のお話しを伺いました。成田国際福祉専門学校は、保育士、介護福祉士、医療事務職、社会福祉事務職　などを目指し、人間教育を基本とした実践教育、資格取得教育、国際人教育により、これからの医療・福祉・国際社会に必要な人材を育成している学校です。

今回は、日本の専門学校が置かれた状況と現在問題となっている労働力不足による外国人労働者の受け入れに関して講演して頂きました。特に、福祉関係では日本の学生が就職したがらない傾向が強く、労働力不足が大きな問題となっています。

千葉県内の福祉業界では、金銭的に困難な学生に対して、福祉の現場で働きながら学校に通うことが出来る「デユアルシステムによる人材確保」及び「介護キャラバン隊の実施」で、県内の小・中・高校に向けて、さまざまな体験を通じて介護福祉の啓蒙活動に取り組んでいるそうです。

佐藤校長は日本経営士会にとってなじみのある秋葉学園のグループ校であり、主に東南アジアからの留学生を対象とした授業を行っております。ご縁があって、昨年校長とお会いし、専門学校でのマネジメントに関する講師派遣の依頼、千葉県下にある福祉施設の経営層を対象としてセミナーの開催等4月以降、具体的な話を煮詰めることになっています。講師の派遣や福祉施設経営者向けのセミナー開催を計画するにあたって大変興味のあるお話しでした。

また、新しく入会される方も「3Cの会」に参加され、始め活気を帯びた勉強会になりつつあります。

(佐藤校長の講演の様子)

「3Cの会」は、6月29日(土)、7月27日(土)、8月31日(土)船橋中央公民館で午後3時～午後5時です。なお、5月25日(土)は、第64回 千葉支部定時報告会を開催します。

問い合わせ先等については、山田一　enshin@js4.so-net.ne.jp　まで

(金子 昌夫 記)

支部活動報告

2019年春季トレンディーセミナー『AI、IoT、RPAなど新しい技術と産業界の動向と実例』の開催

（中日本ブロック主催／南関東・埼玉・千葉・東京支部）

東京支部

今回のセミナーは、中日本ブロック主催、東京支部主管で、3月5日（火）に高田馬場の東京富士大学で開催し、53名が参加した。

講師にITbook株式会社シニアマネジャー定野淳氏南関東支部会員（第一部）、鈴木和男東京支部長（第二部）を迎え、鈴木中日本ブロック担当理事兼東京支部長の挨拶で始まった。

第一部では、AIによる自動化、最適化、ノウハウの組み合わせによる業務改革の支援を紹介した。

第二部では、これを受けて「第4次産業革命に向かう日本経済の動向」の事例を紹介した。

各部の主な視点・論点は次のとおりである。

【第一部】

～AI、IoT、RPAなど新しい技術と産業界の動向と実例～（定野講師）

［1］ITの動向について

現在のIT市場において、どのようなニーズがあるか、同社のITソリューション事例を参考に動向を推測する。

1. ITbookのソリューションメニュー
2. クラウドPBX（固定電話のIP化）、及びクラウド型CTI（コールセンターソリューション）
3. LINE対応ソリューション
4. 働き方改革ソリューション（テレワーク環境／ Tally To Go）
5. RPA（Robotic Process Automation）
6. r.a.k.u.（Rapid Approach Knowledge Use）

［2］AIの分野から、RPAと翻訳の今と将来

市場で注目されているRPAと翻訳について、動向と将来の展望を解説する。

1. RPAの今
2. RPAボットによる、非定型型業務自動化
3. RPAの将来展望
4. AI翻訳機の仕組み

［3］キャッシュレスの今と将来

世界各国ではキャッシュレス化が進んでいる。日本の生産性向上から、システムの導入が期待されている。

1. 貨幣文化の脅威
2. キャッシュレスの一例
3. キャッシュレスサービス多様化による課題

第一部のまとめ

今や最先端ITと言われるIoTなどは、様々な業種・業界にとり大きな変化であり、大きなチャンスでもある。しかし、IoTの導入に当たっては様々な困難に遭遇する。それには、標準化やセキュリテイなどの技術面、他社との関係、社内の人材などいろいろある。

そのためには、事例を通じて先進的企業がその困難をどう克服したのか、「ソフトウエアデザイン手法」が開発されている。皆様のビジネスに活用されることを期待いたします。

【第二部】

～AI、IoT、RPA、Fintech…と、第4次産業革命に向かう日本経済の動向を概観する～（鈴木講師）

［1］世界経済・産業構造の変化

～主要国のGDP、国際貿易、技術力など

1. 日本そして、2030年ぐらいにはアメリカも中国に、日本はインドに抜かれるGDPランキング　　目覚ましい中国・インドの発展
2. 日本は一人当たりGDPも低い
   日本は25位、38,439.52USドル
3. 大きな世界シェアを誇っていた我が国の産業
   1990年頃からICTが庶民のモノになり、「多品種少量、変種変量、一個流し生産」が可能になった。
4. 日本型総合電機の落日
   製造は垂直統合から水平分業へ。
5. 激変する産業構造（関東経産局管内製造業）
   80 ～ 90年代は多様な業種、2000年代は多様な業種、2000年代に入ると電気機械の減少により、自動車関連のみが突出した状況。
6. 大企業と中小企業の労働生産性比較
   中小企業はすべての業種で大企業を大幅に下回る水準。
7. 生産年齢人口の急激な減少
8. これからは、廃業かM&A、MBOが急増する

9. 日本の就業環境の変化
新技術が登場し、世界は激変している。一方、日本は低成長、少子高齢化、人口減少にあえぐ。
10. GAFAの四強が世界を支配
※GAFA：Google, Apple, FaceBook, Amazon
11. Amazonがあらゆるサービス業を飲み始めた
Amazonが次々とリアル分野のサービスに進出・拡大を始めた。

［2］スマート社会を創るAI、IoT、RPAなどの技術、製品動向

1. スマート社会の実現
スマート社会とは、ITの高度な活用により距離や場所、時間等を克服して生み出される安心安全、快適、便利などの価値の両立。
2. AIの時代が来る
レイ・カーツワイルは2045年にシンギュラリティ（AIが人類の知能を超える転換点）が訪れると予測。
3. IoTの時代が来る
身の周りのモノが何でもネットにつながるIoTの機器が増える。
4. RPAの時代が来る
AI、RPA導入で進む新しい働き方改革とは？
5. Fintechで銀行はいらなくなる
「求ム！銀行員らしくない人」
6. 人生100年時代に拡大する？ヘルスケアビジネス

［3］日本の製造業の現状と将来

1. 世界の第4次産業革命の動向
(1) EU
モノづくり大国ドイツが中心となり、シーメンス、ボッシュなどが「Industry4.0」により、世界の製造業を統合する計画を推進し、中堅中小の競争力強化が行われている。
(2) 米国
IIC（インダストリアル・インターネット・コンソーシアム）が産業用IoTの実用化と標準化の推進を行っておりIBMやGE、日本企業も参加。
(3) 中国
「中国製造2025」として、中国政府が今後10年間のロードマップを作成し、5つの基本方針①イノベーション駆動、②構造最適化、③品質優先、④環境保全型発展、⑤人材本位を定める。
2. モノづくりの工程はどう変わるか
3. 事例～簡単IoT「れんら君」
4. 事例～活動情報記録サービス「写メ-Q」
5. REX（販売管理システム）によるトレーサビリティ管理
6. ブルー・オーシャンを獲得するアウトサイドインの概念

第二部のまとめ

AI、IoTによるイノベーションへの取組は、ドイツ、米国、中国では国を挙げて取り組んでいる。日本ではイノベーションへの取組を、「第5次産業革命」と称し、政策実施している。内閣府による「第5期科学技術基本計画」で「Society5.0」が示され、総務省と経産省が推進している。

民間主導のものとしては、IVI（インダストリアル・バリューチェーン・イニシアチブ）が設立され、IoTを基準に複数の企業が連携している。

■参加者とアンケートの評価

お申込みいただいた方がほとんどご参加され、またアンケートでの評価も高く、盛況だった。

・参加総数……53名（対申込み91%）
・南関東支部……13名（対申込み100%）
・埼玉支部……7名（対申込み88%）
・千葉支部……2名（対申込み100%）
・東京支部……31名（対申込み89%）

＜経営士、外部別＞

・経営士……39名（対申込み93%）
・外　部……14名（対申込み88%）

（出席者のアンケートでの評価）

①とても満足	38%
②満足	45%
③どちらともいえない	14%
④やや不満／不満	0%
⑤未記入	3%

セミナーの講演風景（定野講師）

（東京支部：島村　年昭、有馬　弘純、大宮　政男）

南関東支部活動報告

南関東支部長　戸部 廣康

南関東支部の活動について、報告致します。今回、神奈川経営支援センターに、新たに「SDGs研究会」を設立致しました。

1.「SDGs研究会」新設の背景と目的

本誌(2019年3・4月号)において「SDGs全国フォーラム2019に出席して」と題して述べましたが、「老若男女」全世代でのSDGsへの関心の高さに驚きました。2008年のリーマンショックで露呈した「強欲資本主義」の限界を超える人類共通の目標として、国連提案のSDGsが宣言・採択され、世界へ広がり始めています。神奈川県は、SDGs活動において先進地域の一つであり、神奈川県、横浜市、鎌倉市は既にSDGs未来都市の選定を受けております。更に南関東支部として注目しているのは、県央の相模原・橋本地区であり、「はやぶさ1号、2号」で有名なJAXA(宇宙航空研究開発機構)が存在し、橋本にはリニア新幹線駅の建設が計画されているのです。又、県の「ロボット経済特区」にも指定されており、多くの企業が集積されています。このような先進的雰囲気を持つ地区と連携し、SDGs活動を進めれば南関東支部、更には日本経営士会にとっても大きなビジネスチャンスとなりえると考えております。具体的には、相模原市を県内で、横浜・鎌倉に次いで3番目の「SDGs未来都市」の選定を受けるべく、相模原市との協力関係を築く事です。この方針に沿って、相模原商工会議所、相模原市役所を何回も訪問し、現在、連携の道を探っております。

このような背景を踏まえ、我々経営士としても、自らの実力を強化する為に「SDGs研究会」を、先ず、神奈川経営支援センターに新たに設置する事に決定致しました。

2.「SDGs研究会」の活動状況 ―3回の研究会を開催―

1) 第1回：2019. 2. 26(かながわ県民センター)

神奈川経営支援センター役員会において「SDGs研究会」の設置が承認され、3人の講師により、以下の講演が行われました、

① 増田雅彦(環境経営士)「SDGs全国フォーラム2019の紹介と電気学会委員会での活動(気候変動対策)」

② 戸部廣康　(経営士)「SDGsと企業経営」

③ 石黒不二夫(経営士、環境経営士)「日本におけるSDGsへの取組」

講演に引き続き、SDGs取組への意見交換会が下記の通り行なわれました(座長：石黒会員)。参加者(経営支援センター幹事7名を含む)によりSDGsに関するフリーディスカッションを行い、下記事項が確認されました。

① 神奈川経営センターでSDGsに関する活動を行なっていくことが提案されSDGs研究会を設置することに決定。(正式には3月2日のセンター役員会で決定)。毎月1回定例会を開催する。

② 神奈川経営支援センターとして相模原市のSDGs取組活動を支援する。
また、商工会議所や官民連携プラットホームなどに参加する。

③ その他、畑会員からSDGsをビジネスチャンスにするためにSDGsのビジネスプラン策定やSDGs事業アドバイザー資格設定などの提案があった。

2) 第2回：2019. 3. 2(かながわ県民センター)

① 増田環境経営士を研究会長に選出しました。

② 相模原商工会議所に、(一社)日本経営士会神奈川経営支援センターとして法人会員の申し込みを検討する事にしました。

③ SDGsの全国的なプラットフォームに経営士会本部の参加を依頼します。

④ 増田会長より、事務局には若手を推挙したいと提案があり、了承されました。

⑤ 畑会員より、SDGsアドバイザー制度について説明がありました。

3) 第3回：2019. 4. 7(かながわ県民センター)

① 相模原市に対するアプローチ活動について、増田会長より報告がありました。
4月5日相模原市役所を訪問し(増田会長、戸部支部長、石黒本部監事の3名)、行政企画課担当に、相模原市のSDGs取組計画について伺いました。
(SDGs未来都市の申請に向けた活動はまだ緒に就いたばかりとのこと。)

② 意見交換

・「SDGs＋相模原ロボット特区＋中小企業」で何かできないか、模索している。
(増田会長の経歴の企業活動や電気学会、LCA学会活動等の知見を活かせる。)

・相模原市SDGsの取組意見公募中(4月10日〆切)であり、提案検討時間はないが、意思だけでも発信してはどうか。(市の案内ページ　http://ur0.biz/RJDU)

・中小企業普及や市民レベルのSDGs活動を相模原市の青年会議所が積極的に始めているので接触を図ってはどうか。(http://www.sagadgs.com/)
(2019年度地方創生支援事業費補助金　http://ur0.biz/SauQ)

・相模原市の次期総合計画(平成32(2020)年度～)が公開されている。
この中に持続可能な都市経営という項目がある。(http://ur0.biz/0yfM)
研究会でも早々に内容を理解し、支援活動の関連付けが必要と考える。

③ 研究会の活動全般・運営について意見交換

・本研究会の組織運営に関して研究会事務局を小池が担当する(再確認)。

・今年の全国研(京都)はSDGsもテーマになっているので、神奈川の活動をアピールして、他支部会員との情報交流を図れると良い。

・経営士会に産能大卒業生が今後、多く入会するので、彼らの活躍の場としてSDGsの活動に参画してもらってはどうか。

・神奈川センターのホームページに研究会活動やSDGsの外部情報など掲載する。

以上

(第1回SDGs研究会での発表、及び討論)

支部活動報告

日本経営士会中部支部　研究会報告書

中部支部

報告者　今枝 健治

●新・道の駅研究会「パレットピアおおの視察・診断」　**担当：加藤 健二副会長**

日時：平成31年3月3日（日）　11時～13時

岐阜県大野町に昨年7月オープンした「道の駅・パレットピアおおの」に現地集合し、参加者各自の視点で店内外を視察・チェック。道の駅としての機能、レイアウト、品揃えなどを確認。各自の診断結果は3月10日の研究会で発表する。

●新・道の駅研究会「パレットピアおおの視察・診断結果発表」　**担当：加藤 健二副会長**

日時：平成31年3月10日（日）　9時30分～11時30分　場所：芸創センター 5F

「パレットピアおおの」について、運営主体はサントリー子会社（株）ダイナック、売場面積570坪、来場者数半年で約30万人、年商予想約3億円、地域防災と避難所の機能がある。それを受けて、3月3日の店舗診断結果を視察参加者4名から発表する。「新しいタイプの道の駅であり、運営会社のコンセプトが強調され、地元物産の演出が弱く地域振興施設としては課題があるとの指摘。ベーカリーは魅力的なので、レストランのメニュー改善と地元物産の販売強化をすることで、さらなる集客と売上につながる可能性がある。視察参加者には、大変勉強となる研究会でした。

●121研究会「ワン・トゥー・ワン・マーケティングとその事例」　**担当：梅本 泰則支部長**

日時：平成31年3月10日（日）　12時30分～14時　　場所：芸創センター 5F

マスマーケティングは市場優先の考え方であるが、それに対してワン・トゥー・ワン・マーケティングは顧客優先のマーケティングで、一人一人の顧客の価値を最大化するのが目的である。そのためには、顧客データの整備・活用、顧客それぞれのニーズの解明、顧客を感動させること、コミュニティー作り、商品サービスのカスタマイズが重要であるとのこと。アマゾン、ハーレーダビッドソン、ヤッホーブルーイング、ラッキーピエロなどの事例をもとに、分かりやすく説明していただきました。

●生産管理研究会「トヨタ式品質管理のツボ」　**担当：三品 富義副支部長**

日時：平成31年3月31日（日）　9時30分～11時30分　場所：芸創センター 5F

まず、豊田家の家系図を参考に概略の説明に始まり、豊田自動織機創業者「豊田佐吉」から、二代目豊田喜一郎がジャストインタイムを創設したストーリーの説明の後、組み立て工場内の現場の動画を見ながら、組み立てラインの説明をいただきました。次に本題であるトヨタ自動車の品質管理のツボの説明を『①ジャストインタイム、②かんばん方式、③自働化、④カイゼン、⑤見える化、⑥TQCからTQM、⑦5Sの徹底、⑧検査、⑨不具合発生処理、⑩なぜなぜ分析』と順序立てての説明をいただきました。

（パレットピアおおの視察中の支部会員）

（ワン・トゥー・ワン・マーケティング解説の梅本支部長）

支部活動報告

日本経営士会中部支部　活動報告書

中部支部

報告者　梅本 泰則

「経営士補養成講座」開校

日時：2019年1月19日、2月2日、2月9日、2月16日、2月23日
　　毎回土曜日開催の5日間（合計30時間）
会場：愛知学院　名城公園キャンパス（AGALSタワー）
申し込み参加者：4名
5日間のスケジュールとカリキュラム

1/19（土）	経営士補の役割	担当：加藤健二
	企業経営の基本	担当：梅本泰則
	MPPの理解	担当：三品富義
2/ 2（土）	財務の基礎	担当：鈴木浩吉
	人事の基礎	担当：森川重義
2/ 9（土）	情報管理	担当：江口敬一
	販売とマーケティング	担当：梅本泰則
2/16（土）	生産管理と品質管理	担当：三品富義
	CSRの基礎	担当：今枝健治
2/23（土）	環境経営	担当：三品富義
	総括及び小論文作成、終了証書授与式	

総括：

上記のスケジュールにて計5日間の経営士補養成講座が開校され無事終了いたしましたことをご報告させていただきます。各カリキュラムにつきましては、担当講師の専門分野の知識と長年の経験と実績を踏まえた、実践的な内容のある講義であったのではと顧みております。今後の課題としましては、今回の参加者は定員10名に対して4名でしたので、定員数に達するべくより創意と工夫が求められるところです。

いずれにしましても、参加いただいた方々が経営士補として新しくメンバーに加わりましたら、私たち中部地区会員と共に研鑽を積み重ねていけるよう、できる限りのサポートに努めてまいりたいと考えております。

（経営士補養成講座修了者4名と経営士スタッフ）

支部活動報告

埼玉支部MPP研究会の活動報告

埼玉支部

［中日本ブロックで合同開催に至った経緯］

埼玉支部では、「MPP研究会」を年2回開催しております。

以前は、支部単独で開催してきましたが、会員の高齢化と減少に伴い、2チームを編成することが困難な状況に陥りました。この窮状を打破し、前向きの活動を続けるため、昨年度、中日本ブロック各支部の協力を得て、支部合同で研究会を定期的に開催することになりました。

［前回（10月14日）の状況］

昨年10月14日の埼玉主管のMPP研究会では、東北支部から2名の熱心な申込もあり、埼玉支部8名、東京支部5名、南関東支部2名の参加を得て、出席者は17名を数え、今までにない盛り上がりとなりました。

自動運転、無線配車で競争が激化し話題の尽きない「タクシー会社の経営戦略」をテーマに自由闊達な意見交換を行いました。

一支部では実施できないことでも、いくつかの支部が協力すれば実現可能となるということを身に染みて感じました。

［今回（4月13日）の状況］

今回は4月13日武蔵浦和コミュニティセンターで開催。参加者14名でテーマ「老舗印刷会社社長へのアドバイス」に取り組みました。

AIやICTによる技術革新により、急激に変化している印刷業界の課題をとり上げたこともあり、現状分析から課題抽出、解決策に至るまで白熱した議論展開がなされ、概ね参加者の合意形成できた状況で盛会裡に終了しました。また、今回は佐藤光子副会長にも参加いただきました。

（チーム別発表風景）

（参加者集合写真）

［今後の進め方］

様々な課題を柔らかい思考で対処するツールとして、MPPは有効に活用できるものと考えております。埼玉支部では、これからも中日本ブロック各支部の協力を得て定期的にMPP研究会を開催していく所存です。

（中杉 保雄）

支部活動報告

近畿支部公開MPPを開催

近畿支部

3月16日（土）13時から16時まで、大阪駅前第三ビル2階にある、自習室うめだ会議室にて恒例の公開MPPを開催しました。今回初めて、マネジメントコンサルタントにも開催告知したものの、告知した期間が短かったこともあり、当方含め6名と少人数での討議でした。

今回、昨今の経営課題において重要度が増している事業承継について討議したいと考え、今回参加された河上　晃会員もケース作成メンバーのひとりとして関与した、「事業承継と事業展開をどう進めるか」を利用しました。これは以前、近畿支部でのMPPでも討議したことがありましたが、上記の理由につき再び使うことにしました。

リーダーは、9月の開催まで半年を切った京都での全国研に向け多方面わたり尽力している瀬尾寿和会員が担当し、リスクと機会からの戦略策定における方向性、同時に2代目への体制移行のためへの動きを討議しました。

その中で、「工場を営業所も含めた体制から事業基盤を強化させる」案、海外事業のリスク要因の一つ、カントリーリスクも考慮しつつ、「大手メーカー傘下に入り一部門で再スタートを切る」案、そして、「海外事業を縮小し、自社の強みである保有技術を発揮して新市場に突き進む」案が出るなど、小さい文字でホワイトボード一面びっしり書くほど活発に議論が出ました。

終了後は、会場近くのお初天神の商店街にある居酒屋で懇親会を開き、今後の運営などを含めて交流を図りました。今回、当方が担当しましたが、告知期間や運営方法に課題が多く残った会となりました。開催時期も含めて次回の運営への改善につなげていきたいと思っています。参加された会員の皆様、有難うございました。

近畿支部からお願い

第53回全国研究会は9月14日・15日京都で開催！！

今年の全国研究会議は半世紀を超え今回は第53回となります。

全国研の詳細は、会報誌やホームページでお知らせ申し上げております。

近畿支部では、皆様のお越しを楽しみにしながら、連日企画・運営準備にまい進しています。

参加申込をまだされていない会員様は、速やかに参加申込みをして下さいますように重ねてお願い申し上げます。

近畿支部一同、皆様のご参加を心よりお待ちしています。

支部活動報告

四国支部「大人の修学旅行」

四国支部

四国支部事務局

2月21日、四国支部において「大人の修学旅行」と題して、青木会長のオフィスに勝手に？！現地集合して、普段交流できない役員やNJK幹部の方々との交流と、地元香川出身の大臣、副大臣室訪問をメインに挙行しました。参加構成員は川西会員の発案で四国支部8名と会長、専務理事の合わせて10名で行動を開始しました。

まずは、いきなりの銀座集合でおのぼりさん一行は女性経営士(NJK)から島影、土橋両会員を交えて銀座でランチミーティング。特に昨年立ち上げた四国女性経営士の会の山本会員を中心に色々意見交換ができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。但し、銀座に讃岐弁が飛び交う異常事態になりましたが･･･

ランチミーティングを終え、大臣とのアポの時間まで少々時間があったので、近くの喫茶店でミーティングの延長戦を行い、様々な企画を会長などに提案できました。特に経営支援の分野でのミラサポにおいて､経営士会の｢経営士｣と言うカテゴリーが｢その他｣の分類になっているので、今後｢経営士｣というカテゴリーの追加をしてもらえるように、経済産業省などへの働きかけを要請しました。幸い、地元代議士が経済産業副大臣をやっているので、これも上手く活用できたらとの声も出ました。

いよいよ大臣室へのアポイントの時間も迫ったので、まずは情報通信技術(IT)政策担当内閣府匿名担当大臣である平井卓也先生の大臣室に向かいました。普段行くことが無いところなので、少々段取りが悪くなりましたが何とか時間通りに伺うことができ、日本のITの現状などを意見交換し、最後に記念撮影をして大臣室を後にしました。

続いて経済産業副大臣室突撃ですが、内閣府を出て経産省へ行くのに不慣れなため、遠回りをしながら国会議事堂の前を通り、道路を不法占拠し、順法精神の低い沖縄辺野古基地反対派に閉口しながら、少々遅れて副大臣を待たせましたが、何とか到着しました。経産省は経営士会との繋がりが一番深いところなので時間も多く割きたかったところですが、副大臣の予定も押しており、名刺交換と顔つなぎに留まりました。

続いて夜の部では、麻布十番の讃岐会館にて東京香川県人会の有志が集まり、意見交換会を行ないました。日中面会した大臣に加え、参議院議員や官僚をはじめ、各界で活躍されている方々との意見交換を行い、各会員とも一日を通して充実した日ではなかったかと思います。今後も毎年開催しようと計画しております。

（平井IT大臣室にて）

（磯崎経産副大臣室にて）

支部活動報告

四国支部3月例会（アンガーマネジメント講義）

四国支部

3月15日午後7時より高松テルサにおいて、平成30年度最後の例会を外部より社労士の谷川由紀先生を招いて「アンガーマネジメント」についての講義を行ないました。会場の高松テルサは開場費も安く、駐車場も無料でアクセスもよかったのですが、3月31日を持って閉場ということになり、今回が最後となりました。

谷川先生は様々な企業で「アンガーマネジメント」の講義を行なった実績があり、支部会員も個人的なお付き合いがある会員もいる関係で各会員大変楽しみにしておりました。

まず、「アンガー」といえば、単純に「怒り」に関することというのはわかっているのですが、マネジメントと組み合わさることでどのような効果があるのか？起こらない方法なのかと思いきや、怒る必要のあるときは上手に怒って、怒る必要のないところは怒らないようにするというのがアンガーマネジメントの前提であると言うことで目から鱗でした。怒りを公開しないこととか上手に表現することを実体験などを交えた講義で大変わかりやすく解説していただきました。また、参加した会員に話題を府って体験談を引き出したり解説していただくなど、双方向の講義で引きこまれていきました。

個人的にも日々の業務において、かなり痛いところを疲れて、この講義を通じて一番受講適任者ではないかと痛感しました。

経営士会においても、数年前の総会までは持っていきようの無い怒りの連鎖を生んでいるように思いましたが、その渦中においても今回の「アンガーマネジメント」のような考え方をしていれば回避できた案件もあったのではないかと振り返ってみたりもしました。

「アンガーマネジメント」の内容は奥が深いので、今回の例会の限られた時間では全てを網羅できないとのことなので、第2回3回とシリーズ化して継続していこうと思っております。

（四国支部事務局）

（谷川先生の講義に真剣に聞き入るの巻）

2019年開催行事・講 座・セミナー ご案内

行事･研修･セミナー名	日　時	開催場所	詳　細	申込法など
環境経営士養成講座 ベーシックコース	5月11日(土) 10:00～17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：13,000円/1人	当会HP、[環境保全活動のご案内]をご覧ください。
第103回経営士試験	5月12日(日)	日本経営士会 本部会議室他	受 験 料：10,000円	当会HPをご覧ください。
第1回定例理事会	5月17日(金) 13:30～15:30	日本経営士会 本部会議室		
経営革新計画 プロフェッショナル 養成講座	5月18日(土) 10:00～18:00、 19(日)9:00～17:30 (2日間)	(一・社) 日本健康機構 セミナールーム (日本橋)	募集人員：20名 受 講 料：30,000円/1人	当会HP、会報誌3･4月号をご覧ください。
環境経営士養成講座 アドバンストコース	5月18日(土)･19日(日) 10:00～17:30 (2日間)	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：25,000円/1人	当会HP、[環境保全活動のご案内]をご覧ください。
コンサルタント起業塾	6月16日(日) 10:00～17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：6名 受 講 料：29,800円/1人	当会HPをご覧ください。
第2回定例理事会	6月21日(金) 12:30～13:30	日本経営士会 本部会議室		
第1回理事・支部長会	6月21日(金) 14:00～15:00	日本経営士会 本部会議室		
第65回定時社員総会	6月21日(金) 15:30～17:00、 17:30～19:00 (懇親会)	スクワール麹町 3階 華の間	5月下旬に社員総会書類を送付申します	会報誌3･4月号/5･6月をご覧ください。
第50期経営士養成講座	6月29日(土)開講、9月8日(日)修了 (全日10日間)	日本経営士会 本部会議室	募集人員：16名 受 講 料：200,000円/1人	当会HP、会報誌5･6月号をご覧ください。
コンサルタント起業塾	6月23日(日) 10:00～17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：6名 受 講 料：29,800円/1人	当会HPをご覧ください。
環境経営士養成講座 ベーシックコース	7月13日(土) 10:00～17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：13,000円/1人	当会HP、[環境保全活動のご案内]をご覧ください。
環境経営士養成講座 アドバンストコース	7月20日(土)･21(日) 10:00～17:30 (2日間)	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：25,000円/1人	当会HP、[環境保全活動のご案内]をご覧ください。
第3回定例理事会	7月26日(金) 13:30～16:00	日本経営士会 本部会議室		
環境経営士養成講座 ベーシックコース	9月7日(土) 10:00～17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：13,000円/1人	当会HP、[環境保全活動のご案内]をご覧ください。
環境経営士養成講座 アドバンストコース	9月21日(土)･22日(日) 10:00～17:30 (2日間)	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：25,000円/1人	当会HP、[環境保全活動のご案内]をご覧ください。
第53回 経営士全国研究会議	9月14日(土)･15日(日) (2日間)	京都タワーホテル	会報誌3･4月号/5･6月号ご覧下さい	会報誌3･4月号/5･6月号当会HPをご覧ください。
第104回経営士試験	11月3日(日)	日本経営士会 本部会議室他	受 験 料：10,000円	当会HPをご覧ください。
第4回定例理事会	12月6日(金) 13:30～14:30	日本経営士会 本部会議室		
第2回理事・支部長会	12月6日(金) 15:00～17:00	日本経営士会 本部会議室		

■『e-ラーニング講座』を3月よりスタートしています。講座をご受講されスキルアップにご活用ください。
詳細はホームページ又は本部事務局にご確認ください。

支部活動予定

【北関東支部】
＊北関東支部報告会（長野県会主管）
5月18日（土）
長野市
（茨城県会）
＊茨城県会公開MPP
5月25日（土）13：30～16：30
ひたちなか商工会議所
＊茨城県会月例研究会
（経営士の提言、MPPケース作成、その他）
6月29日（土）13：30～16：30
ひたちなか商工会議所
＊茨城県会公開MPP
7月27日（土）13：30～16：30
ひたちなか商工会議所
（新潟県会）
＊会員研修会 懇親会
5月11日（土）15：00～17：00
クロスパルにいがた304
＊ケース研究会 懇親会
6月 8日（土）13：30～17：00
アオーレ長岡市民交流ホールD
＊第23回公開MPP 懇親会
7月13日（土）13：00～17：00
クロスパルにいがた
＊MPPケース研究会 懇親会
8月 3日（土）15：00～18：00
木村事務所

【埼玉支部】
＊埼玉支部報告会
5月 6日（月・祝）13：00～
武蔵浦和コミュニティセンター 第1集会室
＊ビジネスモデル・キャンバス研究会
5月 7日（火）13：30～
武蔵浦和コミュニティセンター 第3集会室
＊環境経営研究会
5月11日（土）13：30～
川口市民パートナーステーション
＊ビジネスモデル・キャンバス研究会
6月 7日（金）13：30～
武蔵浦和コミュニティセンター 第8集会室

【一木会】
5月9日（木）15：00～17：00
6月6日（木）15：00～17：00
7月4日（木）15：00～17：00
9月5日（木）15：00～17：00
10月3日（木）15：00～17：00
（会場は毎回 ホテルグランドヒル市ヶ谷 2階）

【TAMAマネジメント研究会】
5月25日（土）14：00～17：00
6月22日（土）14：00～17：00
7月27日（土）14：00～17：00
8月24日（土）14：00～17：00
（会場は毎回 三多摩労働会館）

【中部支部】
＊121研究会
「セミナーコンテンツの作り方」
5月19日（日） 9：30～11：30
＊コンサルティング研究会
「中小零細企業の経営診断知識」
5月19日（日）12：30～14：30
＊幹事会
5月26日（日）10：00～12：00
＊支部報告会
第1部　平成30年度報告、令和元年支部事業計画
第2部　講演①「時流の話」
講演②「コンサルタントに必要な声の出し方」
第3部　懇親会（会場移動）
5月26日（日）13：00～19：30
＊121研究会
「東京五輪に向けてのスポーツ産業の動き」
6月 9日（日） 9：30～11：30
＊生産研究会
「インダストリー 4.0時代の生産潮流について」
6月 9日（日）12：30～14：30
＊CSR研究会
「今CSRは何を求められているか」
6月30日（日） 9：30～11：30
＊ナゴヤメッセ委員会
「メッセナゴヤ2019出展の戦略」
6月30日（日）14：30～16：30
（開催場所は名古屋芸術創造センター・但し、懇親会は別会場）

【近畿支部】
＊経営顧問研究会
5月15日（水）18：00～20：00
＊MPP研究会
5月11日（土）13：00～16：00
6月22日（土）13：00～16：00
（会場は毎回 日本経営士会 近畿支部事務所）

【九州支部】
＊定例会議
5月11日（土）13：00～17：00
＊SMPP研究会
5月25日（土）10：00～18：00
＊定例会議
6月28日（土）13：00～17：00
（会場は全て上川端商店街振興組合事務所会議室）

PR

一般社団法人日本経営士会

花 上 一 雄

「お陰さまで、２世代・３世代と永いお付き合いのお客様に支えられ２０２０年に開設５０年を迎えます。
“社員の健康は会社の健康、健康な会社創り”が使命です。」

花上グループ『社外人事部®』
★社会保険労務士法人 閃 光 舎
併設団体 中小企業経営協力会
★人事情報システム株式会社
★オフィスサポート株式会社

TEL:045-360-5560 FAX:045-360-5561
■E-mail : hanaue@hanaue.co.jp
■URL : www.senkousha.or.jp
〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東 2-5-13

PR

素焼きアーモンドを毎日の食卓に取り入れてみませんか?

アーモンドは、エイジングケアに欠かせないビタミンEが豊富です。食物繊維がレタスの約9倍も含まれており、毎日食べ続けることでカラダの中から健康になるスーパーフードなのです。

食べ切りサイズ15gを**100袋以上から1袋あたり税抜90円にて**配送いたします。400袋以上のご注文は1袋あたり税抜70円に勉強させて頂きます。どちらも送料込みのお値段となります。賞味期限は210日です。ご注文お待ちしております!

【弊社事業】
①菓子を用いた販売促進物・宣伝物の企画・製作
②菓子専門商社業
③週一回からのパートタイム経理部長サービス
（月次決算早期化、資金繰り表見える化 等）

バーニングスピリッツ Burning Spirits!

【お問合せ先】
株式会社バーニングスピリッツ
代表取締役 堺 剛
携帯電話：090-2733-0185
メール：tsakai@burningspirits2017.com

経営士とのダブル・ライセンスで仕事幅拡大

国家資格キャリアコンサルタント

に挑戦！ は、いまがチャンス！

国が力を入れコンサルタントと名乗れる名称独占資格。従業員のやる気が高まり企業業績アップ。質問力、ファシリテーション力、カウンセリング（コーチング）スキルが身につく、生涯現役職種。

PR

受験資格が得られ、すぐに国家資格者になれる
【厚生労働大臣認定・キャリアコンサルタント養成講習】
http://careerjp.work/cc1/

【経営士向け → 3大特典】
●受講料が最も廉価：他校よりも数万円安く、入学金も免除。さらに消費税分値引。
●合格サポート制度：「受験対策講座」が合格まで何度でも無料に！：通常1日2万円（他校も同様）の対策講座を何度受けても無料に！
●貴重な過去問題集＆回答を無料贈呈：通常入手できない当校オリジナル版。

説明会随時開催！

一般社団法人
地域連携プラットフォーム
TEL:048-476-4600
FAX:048-476-4607
E-mail:info@careerjp.work
〒353-0006
埼玉県志木市館2-5-2鹿島ビル4階
代表理事 **柴田郁夫（経営士4756）**
国家資格キャリアコンサルタント
国家検定1級キャリアコンサルティング技能士
国家検定2級キャリアコンサルティング技能士

名刺広告大募集

名刺広告を掲載いたしませんか！
価格は下記の通りです。
連続で掲載の場合は2割引きになります。

種類	価格（会員）	価格（一般）
カラー１面	35,000	50,000
モノクロ１面	20,000	25,000
モノクロ半ページ	10,000	15,000
モノクロ名刺サイズ	5,000	7,500

訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
会務に多大のご尽力をされました。

＊椎名 隆会員
（千葉支部 NO.1920）
平成31年2月15日没（享年81歳）

＊作田 賢一会員
（北関東支部 NO.149）
平成31年3月2日没（享年87歳）

＊原 啓次郎会員
（東京支部 NO.4317）
平成31年3月9日没（享年87歳）

クラウドビデオ会議サービスZoomセミナー

【実施日時】令和元年5月21日（火）13：30～15：30

このようなことができるようになります！

- ☑ 遠方のお客様のコンサルを
- ☑ 同じ資料を見て書き込みながら会議
- ☑ 全国規模の大人数の参加型セミナー開催
- ☑ 遠隔地の人の採用面接
- ☑ 移動中の会議（スマホ・タブレット利用）
- ☑ パソコンのリモート操作で顧客サポート
- ☑ 対面セッションをオンラインで
- ☑ 自宅でセミナー開催・参加
- ☑ 社員の在宅ワーク・リモートワーク

東京では
初のセミナーです。
経営士の皆さま、
よろしくお願い
いたします。

【実施会場】 一般社団法人日本経営士会
東京都千代田区二番町12-12
B.D.A.二番町ビル5F

【主　催】 株式会社ビットコミュニケーションズ
四国支部香川県会

【参加費】 10,000円（税込み）

【持参物】 ノートパソコン・スマートフォン

【参加お申込】 kawanishi@bit-com.info

「経営士の提言」執筆のお願い

日刊工業新聞社のご厚意により、日刊工業新聞紙面に「経営士の提言」の欄を設けていただいております。日本経営士会並びに「経営士」の活動を知って頂く絶好の機会になりますので、会員各位の積極的な寄稿を是非お待ちしています。執筆の要領は下記の通りです。

■「経営士の提言」執筆要領

内　　容：「モノづくり産業を中心とした経営的視点から」読者・関連業界に参考になる提言・提案を執筆して下さい。

字　　数：900 文字（末尾に氏名と電話番号を記載）

紙面掲載：毎週木曜日

原稿作成：文章は常体「だ・である」でワードで作成の上、メール等にてデータで本部宛てにお送り下さい。（メールアドレス office@keieishikai.com）

＊掲載内容は、日刊工業新聞社の編集部が決定します。

Management Consultant

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management